

科目名	総合科目 I ~ VI	開講単位数
担当講師名	大場 博幸	2

※理解度チェック及び試験の解答期限・解答回数は講座により異なりますので、各講座とも「授業計画」の「受講期間」欄にて必ず確認してください。

章番号	章名	節番号	節名	受講期間		
	表紙			○本講座は4つのパート、12章で構成されています。 また、それぞれのパートには学修期間が設定されています。 ○各章の視聴(復習)はメディア授業開講期間内であれば何度でも可能ですが、理解度チェック及び試験は解答期限を過ぎると解答ができなくなりますので十分注意してください。		
第1章	ガイダンス		導入	○学修期間 1章～3章 10月8日～10月27日までに学修及び理解度チェック1を受けて下さい。 ○「理解度チェック1」 解答期限は10月27日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。		
		1-1	本の紹介			
		1-2	論文してはならない3原則			
第2章	リポートの書き方①	2-1	原稿用紙の使い方	○「理解度チェック1」 解答期限は10月27日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。		
		2-2	資料の調べ方・探し方			
第3章	リポートの書き方②	3-1	「辞典・事典・用語集」で言葉集め			
		3-2	読んでもらうためのリポートの構造			
理解度チェック1						
第4章	中身よりみた目		導入			
		4-1	レイアウトと表記法			
		4-2	みた目の文章配置			
第5章	わかりやすい文章にする3原則	5-1	無限半切の原則			
		5-2	重複禁止の原則			
		5-3	執拗通読の原則			
		5-4	まとめ			
第6章	文献・資料の集め方①	6-1	二つの文献検索法	○学修期間 4章～8章 10月28日～11月10日までに学修及び理解度チェック2を受けて下さい。 ○「理解度チェック2」 解答期限は11月10日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。		
		6-2	「やみくも・いもづる・ねらい打ち」文献資料収集			
		6-3	価値ある文献の見極め方			
第7章	文献・資料の集め方②	7-1	Amazonのサイトで検索			
		7-2	GeNiiのサイトで検索			
		7-3	国立国会図書館のサイトで検索			
		7-4	NACSIS Webcatのサイトで検索			
		7-5	その他のサイトで検索			
第8章	文献・資料の整理方法	8-1	文献コピーの整理と読み方			
		8-2	ノートよりもカード			
		8-3	重要なデータは分散して保存			
理解度チェック2						
第9章	論文(卒論)の執筆手順		導入	○学修期間 9章～10章 11月11日～11月24日までに学修及び理解度チェック3を受けて下さい。 ○「理解度チェック3」 解答期限は11月24日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。		
		9-1	卒論執筆計画の立て方			
		9-2	論構成と章構成の方策			
第10章	注釈・引用・参考文献の示し方	10-1	近年型による引用文・注釈の示し方			
		10-2	注釈と引用・参考文献の章末・巻末での表記			
理解度チェック3						
第11章	論文論(よい論文とは)		導入	○学修期間 11章～12章は開講最終日まで受講が可能ですが、12月9日～12月15日がリポート試験提出期間になりますので、注意してください。		
		11-1	よい文の3原則			
		11-2	わかりやすい文の書き方			
		11-3	よい論文の3原則			
第12章	瀬戸際のテクニック	12-1	締め切りまでに書く			
		12-2	書式・論構成のテクニック			
		12-3	「あいまいさ」を求めて			
		12-4	大学で学ぶ意味			
試験						
受講後アンケート						
復習期間						

科目名	総合科目 I ~ VI	開講単位数
担当講師名	鍋本 由徳	2

※理解度チェック及び試験の解答期限・解答回数は講座により異なりますので、各講座とも「授業計画」の「受講期間」欄にて必ず確認してください。

章番号	章名	節番号	節名	受講期間	
	表紙			○本講座は4つのパート、12章で構成されています。 また、それぞれのパートには学修期間が設定されております。 ○各章の視聴(復習)はメディア授業開講期間内であれば何度でも可能ですが、理解度チェック及び試験は解答期限を過ぎると解答ができなくなりますので十分注意してください。	
第1章	本講義を学習するにあたって	導入			
		1-1	講義のねらいと各章の構成		
		1-2	日本大学の特色		
		1-3	日本大学の現況		
		自己点検			
第2章	日本大学120年の歩み I	導入			
		2-1	創立前後		
		2-2	専門学校の認可		
		2-3	大学令による大学に		
		2-4	総合大学への礎		
		2-5	創立五十年と太平洋戦争		
第3章	日本大学120年の歩み II	自己点検			
		導入			
		3-1	戦後教育改革と日本大学		
		3-2	新制日本大学の発足		
		3-3	高度経済成長と日本大学		
		3-4	高学歴社会と日本大学		
第4章	日本法律学校の誕生	3-5	国際化・情報化時代と日本大学		
		自己点検			
		理解度チェック1			
		導入			
		4-1	日本の近代化と法典整備		
第5章	明治期の学園風景	4-2	近代法教育の開始		
		4-3	日本法律学校の創立		
		4-4	創立に携わった人々一学祖と創立者一		
		自己点検			
		導入			
第6章	大学令と日本大学	5-1	創立期の学園生活		
		5-2	山田顕義の死去と廃校問題		
		5-3	日本法律学校から日本大学へ		
		自己点検			
		導入			
第7章	戦時体制下の学徒	6-1	大学令の公布と日本大学		
		6-2	教育組織の整備拡充		
		6-3	関東大震災と復興への努力		
		6-4	日本大学と学生		
		自己点検			
第8章	第8章 高度経済成長と大学の大衆化	理解度チェック2			
		導入			
		7-1	報国団と勤労動員		
		7-2	学び舎からの出征		
		自己点検			
第9章	大学紛争とその後の日本大学	導入			
		8-1	日本大学振興策の推進		
		8-2	学生の動向		
		自己点検			
		導入			
第10章	日本大学とスポーツ・文化活動	9-1	日大紛争		
		9-2	紛争後の学園生活		
		自己点検			
		理解度チェック3			
		導入			
第11章	活躍する日大人	10-1	日本大学と体育・スポーツ活動		
		10-2	特色ある日大スポーツ		
		10-3	日本大学と文化活動		
		自己点検			
		導入			
第12章	通信教育部の歩み	11-1	独学者に法曹の道を開いた澤野民治		
		11-2	歯科医学界の先覚者 佐藤運雄		
		11-3	日本航空界の父 木村秀政		
		11-4	地球再発見による人間性の回復へ 写真家白川義員		
		自己点検			
理解度チェック4					
試験					
受講後アンケート					
復習期間					

12月4日～12月16日がアンケート回答期間になります。

試験終了後の12月11日～12月16日の間は全章の復習期間にしてください。

科目名	歴史学
開講単位数	2単位
担当教員名	渡邊 浩史 馬渕 彰 鍋本 由徳 藤井 信行

※理解度チェック及び試験の解答期限・解答回数は講座により異なりますので、各講座とも「授業計画」の「受講期間」欄にて必ず確認してください。

担当	章番号	章名	項番号	項目名	受講期間					
渡邊先生		表紙			○本講座は4つのパート、12章で構成されています。 また、それぞれのパートには学習期間が設定されています。 ○各章の視聴(復習)はメディア授業開講期間内であれば何度でも可能ですが、理解度チェック及び試験は解答期限を過ぎると解答ができないことがありますので十分注意してください。					
	導入(教員紹介)	講座概要説明 教員紹介		歴史学入門						
	1~3章導入			(導入) イントロダクション						
	第1章	安倍晴明		導入						
			1-1	安倍晴明の実像と伝説形成						
			1-2	花山天皇						
			1-3	安倍晴明と花山天皇						
	第2章	一遍		導入						
			2-1	賦算						
			2-2	浄土教の聖地四天王寺						
			2-3	高野山						
			2-4	熊野						
	第3章	紀伊国牟婁郡の悪女 —「安珍・清姫」物語の原型と熊野—		導入						
			3-1	『道成寺縁起巻』						
			3-2	『道成寺縁起巻』の成立と原型						
			3-3	『道成寺縁起巻』と他界						
			3-4	おわりに						
	理解度チェック1									
馬渕先生	4~6章導入			(導入) イントロダクション						
	第4章	ジョン・ウェスレー牧師 —大宗教運動の産みの親—		導入						
			4-1	聖職者、かつ大学教師ウェスレーの誕生						
			4-2	信仰理解への懷疑、失意、そして失意のどん底へ						
			4-3	挫折から立ち直るその瞬間						
			4-4	ウェスレーに群がる人々						
			4-5	ネットワークの拡大・充実						
			4-6	より良い聖なる社会を目指して						
	第5章	E.アレヴィ博士 —イギリスとそのキリスト教に魅了されたフランス人学者—		導入						
			5-1	哲学者アレヴィの誕生						
			5-2	イギリス社会の安定は、なぜ…?						
			5-3	謎解きの力が何よりも傑出した派						
			5-4	ついに発見、これこそイギリス社会安定の歴史的メカニズム						
			5-5	多くの学者を揺さぶったアレヴィのインパクト						
	第6章	ジョセフ・レイナー・スティーブンズ牧師 —心の革新を追い求めた労働運動家—		導入						
			6-1	メソジスト派牧師スティーブンズの誕生						
			6-2	北部工業地帯の貧しい人々の家庭を守るのだ!						
			6-3	労働者よ、武器を取り!						
			6-4	メソジスト派よ、ウェスレーの精神に立ち返れ!						
			6-5	メソジスト派の社会的影響とは						
	理解度チェック2									
藤井先生	7~9章導入			(導入) イントロダクション						
	第7章	オーストリア:エーレンタール外相(1906~12)と ベルヒトルト外相(1912~15) —攻撃的外交政策とヨーロッパ協調の破壊—		導入						
			7-1	ボスニア危機とエーレンタール外相						
			7-2	バルカン戦争とヨーロッパ協調の破壊						
			7-3	サラエボ事件とベルヒトルト外相						
	第8章	ドイツ:カイザー・ヴィルヘルム二世 —正面戦争とヨーロッパ大陸戦争—		導入						
			8-1	開戦原因論と研究史の整理						
			8-2	シュリーフェン・プランとドイツの宣戦布告						
			8-3	ヨーロッパ大陸での覇権と正面作戦						
			8-4	ヨーロッパの安定の破壊						
	第9章	イギリス:グレイ外相(1905~16年) —ロシア・フランスとの協調と対ドイツ宣戦—		導入						
			9-1	グレイ外相とイギリス外交政策						
			9-2	バルカン問題とイギリスの不介入						
			9-3	帝国の防衛						
			9-4	ロシア・フランスとの協調						
	理解度チェック3									
鍋本先生	10~12章導入			(導入) イントロダクション						
	第10章	徳川吉宗 —全国統治者の意識—		導入						
			10-1	徳川吉宗						
			10-2	紀州藩主就任と藩主の課題						
			10-3	將軍就任と幕府の課題						
			10-4	「日本」という国家						
			10-5	まとめ						
	第11章	大岡忠相 —その実像と虚像—		導入						
			11-1	大岡忠相の略歴						
			11-2	町奉行大岡忠相						
			11-3	大岡忠相の農村支配						
			11-4	享保期前後の農村						
			11-5	創られた大岡忠相						
	第12章	田中休愚 —庶民に捧げた一生—		導入						
			12-1	田中休愚の略歴						
			12-2	休愚の知識欲						
			12-3	『民間省要』の上覧						
			12-4	定免法への考え方						
			12-5	休愚の普請御用						
	理解度チェック4									
試験										
受講後アンケート										
復習期間										
12月7日~12月16日がアンケート回答期間になります。										
試験終了後の12月14日~12月16日の間は全章の復習期間にしてください。										

科目名	法 学
開講単位数	2単位
担当教員名	松島 雪江

※理解度チェック及び試験の解答期限・解答回数は講座により異なりますので、各講座とも「授業計画」の「受講期間」欄にて必ず確認してください。

章番号	章名	項目番号	項目名	受講期間
	表紙			○本講座は3つのパート、15章で構成されています。 また、それぞれのパートには学習期間が設定されております。 ○各章の視聴(復習)はメディア授業開講期間内であれば何度でも可能ですが、理解度チェック及び試験は解答期間を過ぎると解答ができなくなりますので十分注意してください。
第1章	法と正義	1節-1	法と正義①	
		1節-2	法と正義②	
		2節-1	現代の正義論①	
		2節-2	現代の正義論②	
		3節	法と正義を考える	
			自己点検	
第2章	憲法の意義と基本原理	1節-1	立憲主義の理念①	
		1節-2	立憲主義の理念②	
		2節-1	憲法の種類と性質①	
		2節-2	憲法の種類と性質②	
			自己点検	
第3章	包括的人権と法の下の平等	1節	基本的人権とは	
		2節	平和的生存権	
		3節-1	幸福追求権①	
		3節-2	幸福追求権②	
		3節-3	幸福追求権③	
		4節-1	法の下の平等①	
		4節-2	法の下の平等②	
		4節-3	法の下の平等③	
		4節-4	法の下の平等④	
			自己点検	○学習期間 1章～5章 10月8日～10月28日までに学習及び理解度チェック1を受けて下さい。 ○「理解度チェック1」 解答期限は10月28日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。
第4章	思想良心の自由と信教の自由	1節	思想・良心の自由	
		2節-1	信教の自由①	
		2節-2	信教の自由②	
		3節-1	政教分離①	
		3節-2	政教分離②	
			自己点検	
第5章	表現の自由	1節	表現の自由の意義	
		2節-1	報道の自由と取材の自由①	
		2節-2	報道の自由と取材の自由②	
		2節-3	報道の自由と取材の自由③	
		2節-4	報道の自由と取材の自由④	
		3節-1	事前抑制の禁止①	
		3節-2	事前抑制の禁止②	
			自己点検	
理解度チェック1				
第6章	経済的自由と社会権	1節	経済的自由総説	
		2節-1	職業の自由①	
		2節-2	職業の自由②	
		2節-3	職業の自由③	
		3節-1	財産権①	
		3節-2	財産権②	
		4節-1	社会権①	
		4節-2	社会権②	
		4節-3	社会権③	
			自己点検	
第7章	国民主権と参政権	1節-1	国民主権①	
		1節-2	国民主権②	
		2節-1	参政権①	
		2節-2	参政権②	
		3節	憲法改正	
			自己点検	
第8章	平和主義	1節	平和への国際的歩みと日本国憲法の平和主義	
		2節	戦争の放棄	
		3節-1	戦力の放棄と自衛隊①	
		3節-2	戦力の放棄と自衛隊②	
			自己点検	
第9章	刑法の基本構造	1節	刑法の役割	
		2節	刑法が機能するという意味	
		3節	刑法は法益保護をめざす	
		4節	違法性とは何か	
		5節	なぜ刑罰を科すことができるか	
		6節	刑法の処罰対象	
		7節	犯罪の成立要件に人間の尊重の理念を活かす	
		8節	偽装交通事故事件	
		9節	可罰的違法性	
			自己点検	○学習期間 6章～10章 10月29日～11月11日までに学習及び理解度チェック2を受けて下さい。 ○「理解度チェック2」 解答期限は11月11日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。

第10章	刑事裁判のしくみ	1節	刑法と刑訴法を比較する			
		2節	刑事裁判は刑事司法の中核			
		3節	事実認定は証拠による			
		4節	証拠裁判主義 — さまざまな証拠			
		5節	「疑わしきは罰せず」の根拠			
		6節	「疑わしきは罰せず」の意義			
		7節	裁判規範は検査規範にもなる			
		8節-1	違法収集証拠排除法則①			
		8節-2	違法収集証拠排除法則②			
		9節	刑事裁判は、有罪・無罪を明らかにするだけではない(刑事裁判の機能)			
理解度チェック2						
第11章	民法のしくみ	1節-1	民法とは何か①			
		1節-2	民法とは何か②			
		2節-1	民法が保護しようとする利益①			
		2節-2	民法が保護しようとする利益②			
		2節-3	民法が保護しようとする利益③			
		2節-4	民法が保護しようとする利益④			
		2節-5	民法が保護しようとする利益⑤			
		3節	民法典の構成と内容			
			自己点検			
第12章	民事裁判のしくみ	1節-1	民事紛争と法①			
		1節-2	民事紛争と法②			
		2節	民事紛争の解決のパターン			
		3節	民事判決手続			
			自己点検			
第13章	生活の中の民法 I・中古住宅やピカソの絵を購入したときのルール	1節-1	動産と不動産の区別①			
		1節-2	動産と不動産の区別②			
		2節-1	不動産の取引①			
		2節-2	不動産の取引②			
		2節-3	不動産の取引③			
		2節-4	不動産の取引④			
		3節-1	動産の取引①			
		3節-2	動産の取引②			
		3節-3	動産の取引③			
		4節-1	動産の即時取得制度①			
		4節-2	動産の即時取得制度②			
		4節-3	動産の即時取得制度③			
			自己点検			
第14章	生活の中の民法 II・日常生活上の事故と不法行為	1節-1	日常生活上の事故と被害者の救済①			
		1節-2	日常生活上の事故と被害者の救済②			
		2節-1	不法行為に基づく損害賠償の請求①			
		2節-2	不法行為に基づく損害賠償の請求②			
		2節-3	不法行為に基づく損害賠償の請求③			
		2節-4	不法行為に基づく損害賠償の請求④			
		2節-5	不法行為に基づく損害賠償の請求⑤			
		3節-1	特別な不法行為①			
		3節-2	特別な不法行為②			
			自己点検			
第15章	生活の中の民法 III・家族関係にまつわる法的問題	1節-1	婚姻関係の成立、解消①			
		1節-2	婚姻関係の成立、解消②			
		1節-3	婚姻関係の成立、解消③			
		2節-1	親子関係①			
		2節-2	親子関係②			
		2節-3	親子関係③			
		2節-4	親子関係④			
		3節-1	相続のシステム①			
		3節-2	相続のシステム②			
		3節-3	相続のシステム③			
		3節-4	相続のシステム④			
			自己点検			
理解度チェック3						
第16章	番外編 答案の作成技術	1節	法学の答案の目標をどこに置くか			
		2節	日本語として正しく			
		3節	設問に取り組む			
		4節	一行問題と事例問題			
		5節	自分の考えを持つ心がけ主張の根拠を示す			
		6節	安楽死は多面的に捉えるべき			
		7節	法のあるべき姿を求めて			
試験						
受講後アンケート						
復習期間						

科目名	政治学	単位
担当教員名	関根 二三夫	2

※理解度チェック及び試験の解答期限・解答回数は講座により異なりますので、各講座とも「授業計画」の「受講期間」欄にて必ず確認してください。

章番号	章名	節番号	節名	受講期間
	表紙			○本講座は4つのパート、12章で構成されています。 また、それぞれのパートには学習期間が設定されています。 ○各章の視聴(復習)はメディア授業開講期間内であれば、何度でも可能ですが、理解度チェック及び試験は解答期限を過ぎると解答ができないことがありますので注意してください。
第1章	立憲民主制の統治形態		導入	○学習期間 1章～3章 10月8日～10月26日までに学習及び理解度チェック1を受けてください。
		1-1	直接民主制と会議制	
		1-2	議院内閣制と内閣統治制	
		1-3	大統領制と執行府制	
			自己点検	
第2章	権力分立と統治機構		導入	○理解度チェック1 解答期限は10月26日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。
		2-1	権力分立の理論	
		2-2	アメリカの大統領制と権力分立	
		2-3	日本の議院内閣制と権力分立	
			自己点検	
第3章	議会政治と統治機構		導入	
		3-1	議会政治の原理	
		3-2	議会の構成	
			自己点検	
			理解度チェック1	
第4章	わが国の統治機構一立法府(1)		導入	○学習期間 4章～5章 10月27日～11月9日までに学習及び理解度チェック2を受けてください。
		4-1	国会の地位	
		4-2	国会の組織	
		4-3	国会の会期	
			自己点検	
第5章	わが国の統治機構一立法府(2)		導入	○理解度チェック2 解答期限は11月9日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。
		5-1	国会の機能	
		5-2	国会議員の地位と特権	
			自己点検	
			理解度チェック2	
第6章	わが国の統治機構一行政府(1)		導入	
		6-1	行政の概念	
		6-2	憲法制定過程における行政権帰属論争	
			自己点検	
第7章	わが国の統治機構一行政府(2)		導入	○学習期間 6章～8章 11月10日～11月23日までに学習及び理解度チェック3を受けてください。
		7-1	内閣の組織	
		7-2	内閣総理大臣の権能	
		7-3	内閣の総辞職	
			自己点検	
第8章	わが国の統治機構一行政府(3)		導入	○理解度チェック3 解答期限は11月23日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。
		8-1	内閣の権能—憲法第73条に掲げられた事務	
		8-2	内閣の責任	
			自己点検	
			理解度チェック3	
第9章	わが国の統治機構一司法府(1)		導入	
		9-1	司法権の概念	
		9-2	司法権の独立	
			自己点検	
第10章	わが国の統治機構一司法府(2)		導入	○学習期間 9章～12章 11月24日～12月7日までに学習及び理解度チェック4を受けてください。
		10-1	裁判所の構成	
		10-2	裁判所の権能	
			自己点検	
第11章	わが国の統治機構一司法府(3)		導入	○理解度チェック4 解答期限は12月7日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。
		11-1	司法の民主的統制	
		11-2	違憲審査権	
			自己点検	
第12章	アメリカ合衆国の大統領拒否権と議会拒否権		導入	
		12-1	大統領拒否権	
		12-2	議会拒否権	
			自己点検	
			理解度チェック4	
	試験			○試験 最終試験は12月8日～12月14日まで が、出題および解答期間となっています。これを過ぎると解答ができなくなります。
	受講後アンケート			12月8日～12月16日がアンケート回答期間になります。
	復習期間			試験終了後の12月15日～12月16日の間は全章の復習期間にしてください。

経済学MB メディア授業計画

科目名	経済学	単位
担当教員名	前野 高章	2

※理解度チェック及び試験の解答期限・解答回数は講座により異なりますので、各講座とも「授業計画」の「受講期間」欄にて必ず確認してください。

章番号	章名	節番号	節名	受講期間		
	表紙			○本講座は4つのパート、12章で構成されています。 また、それぞれのパートには学習期間が設定されています。 ○各章の視聴(復習)はメディア授業開講期間内であれば何度でも可能ですが、理解度チェック及び試験は解答期限を過ぎると解答ができなくなりますので十分注意してください。		
第1章	経済学とは何か		導入	○学習期間 1章～3章 10月8日～10月22日までに学習及び理解度チェック1を受けてください。		
		1-1	経済学とはどんな学問か			
第2章	経済学の研究の進め方		導入	○理解度チェック1 解答期限は10月22日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。		
		2-1	経済学の方法			
第3章	資本主義経済と社会主義経済		導入	○理解度チェック2 解答期限は11月5日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。		
		3-1	資本主義経済と社会主義経済			
第4章	貨幣について		3-2 混合経済	○学習期間 4章～6章 10月23日～11月5日までに学習及び理解度チェック2を受けてください。		
			導入			
		4-1	貨幣とは何か			
		4-2	貨幣についての考え方			
		4-3	貨幣の機能			
		4-4	貨幣制度			
		4-5	人々はなぜ貨幣を保有しようとするのか？			
		4-6	変化しつつある貨幣のすがた			
第5章	金融について		4-7 まとめ	○理解度チェック2 解答期限は11月5日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。		
			導入			
		5-1	金融の定義			
		5-2	金融取引について			
		5-3	金融機関について			
		5-4	金融政策について			
第6章	マクロ経済学		5-5 変化しつつある金融	○学習期間 7章～9章 11月6日～11月19日までに学習及び理解度チェック3を受けてください。		
			5-6 まとめ			
			導入			
第7章	国民所得概念		6-1 マクロ経済学の定義	○理解度チェック3 解答期限は11月19日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。		
			6-2 国民経済の循環			
理解度チェック2						
第8章	産業部門間の循環		導入	○学習期間 7章～9章 11月6日～11月19日までに学習及び理解度チェック3を受けてください。		
			8-1 経済表			
			8-2 産業連関表			
			8-3 再生産表式論			
			導入			
第9章	ケインズ型消費関数		9-1 議論の限定	○理解度チェック4 解答期限は12月3日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。		
			9-2 ケインズ型消費関数			
			9-3 グラフの意味			
			9-4 消費性向と貯蓄性向			
理解度チェック3						
第10章	国民所得の決定		導入	○学習期間 10章～12章 11月20日～12月3日までに学習及び理解度チェック4を受けてください。		
			10-1 投資の存在について			
			10-2 投資乗数			
第11章	景気循環		導入	○理解度チェック4 解答期限は12月3日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。		
			11-1 景気循環の定義			
			11-2 景気循環の様相			
第12章	経済政策		11-3 景気循環の分類	○試験 最終試験は12月4日～12月10日まで が、出題および解答期間となっています。これを過ぎると提出できなくなります。		
			導入			
			12-1 経済と経済政策			
			12-2 政府の役割			
			12-3 大きな政府か、小さな政府か			
			12-4 課題			
理解度チェック4						
試験						
受講後アンケート						
復習期間						

心理学MB メディア授業計画

科目名	心理学	単位
担当教員名	池見 正剛	2

※理解度チェック及び試験の解答期限・解答回数は講座により異なりますので、各講座とも「授業計画」の「受講期間」欄にて必ず確認してください。

章番号	章名	節番号	節名	受講期間	
	表紙			○本講座は4つのパート、12章で構成されています。 また、それぞれのパートには学習期間が設定されております。 ○各章の視聴(復習)はメディア授業開講期間内であれば何度でも可能ですが、理解度チェック及び試験は解答期限を過ぎると解答ができなくなりますので十分注意してください。	
第1章	意識	導入			
		1-1	意識とは		
		1-2	無意識		
		1-3	睡眠		
		1-4	瞑想		
		1-5	催眠		
第2章	学習	自己点検		○学習期間 1章～3章 10月8日～10月22日までに学習及び理解度チェック1を受けてください。	
		導入		○理解度チェック1 解答期限は10月22日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。	
		2-1	学習とは		
		2-2	学習の理論		
		2-3	行動主義的連合理論		
		2-4	認知一体制化理論		
第3章	動機づけ	自己点検			
		導入			
		3-1	動機づけの理論		
		3-2	誘因と動機づけ		
		3-3	ホメオスタシスと動因		
		自己点検			
理解度チェック1					
第4章	情動1	導入			
		4-1	情動とは		
		4-2	認知的評価と情動		
		自己点検			
第5章	情動2	自己点検		○学習期間 4章～6章 10月23日～11月5日までに学習及び理解度チェック2を受けてください。	
		5-1	主観的経験と情動	○理解度チェック2 解答期限は11月5日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。	
		5-2	思考・行動傾向		
		5-3	情動と認知		
		5-4	身体的変化と情動		
		5-5	情動に対する反応：情動調整		
第6章	情動3	自己点検			
		6-1	表情と情動		
		6-2	表情の基本的カテゴリー		
		6-3	生理学的要因との関係		
		6-4	文化差		
		6-5	表情と社会的相互作用		
第7章	知能	6-6	顔面フィードバック効果		
		自己点検			
		導入		○学習期間 7章～9章 11月6日～11月19日までに学習及び理解度チェック3を受けてください。	
		7-1	知的能力の測定		
		7-2	最近の知能理論		
		自己点検			
第8章	パーソナリティ 1	自己点検		○理解度チェック3 解答期限は11月19日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。	
		導入			
		8-1	パーソナリティの測定：特性論的アプローチ		
		8-2	精神分析的アプローチ		
第9章	パーソナリティ 2	自己点検			
		9-1	行動主義的アプローチ		
		9-2	認知的アプローチ		
		9-3	人間性アプローチ		
第10章	社会的影響	自己点検			
		導入			
		10-1	他者の存在		
		10-2	同調		
		10-3	権威への服従		
		自己点検			
第11章	ストレス、健康、コーピング	自己点検		○学習期間 10章～12章 11月20日から12月3日までに学習及び理解度チェック4を受けてください。	
		導入		○理解度チェック4 解答期限は12月3日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。	
		11-1	ストレスの定義		
		11-2	ストレスとなる出来事の特徴		
		11-3	ストレスに対する心理的反応		
		11-4	コーピング		
第12章	心の病	自己点検			
		導入			
		12-1	異常の定義		
		12-2	異常行動の分類		
		12-3	不安定障害		
		12-4	気分障害		
		12-5	統合失調症		
		自己点検			
理解度チェック4					
試験					
受講後アンケート					
復習期間					
○「試験」 最終試験は12月4日～12月10日まで が、出題及び解答期間となっています。これを過ぎると提出できなくなります。					
12月4日～12月16日がアンケート回答期間になります。					
試験終了後の12月11日～12月16日の間は全章の復習期間にしてください。					

英語 I MB 授業計画

科目名	英語 I
担当教員名	水野 隆之

※理解度チェック(報告課題)及び試験の解答期限・解答回数は講座により異なりますので、各講座とも「授業計画」の「受講期間」欄にて必ず確認してください。

章番号	章名	項目番号	項目名	受講期間
	表紙			○本講座は2つのパート、12章で構成されています。また、それぞれのパートには学習期間が設定されております。 ○各章の視聴(復習)はメディア授業開講期間内であれば何度でも可能ですが、報告課題は期限を過ぎると解答ができないになりますので十分注意してください。
Part1	The Little Willow 読解(1)		導入	
		1-1	読解	
Part2	The Little Willow 読解(2)		導入	
		2-1	読解	
Part3	The Little Willow 読解(3)		導入	
		3-1	読解	○学習期間 Part1～Part6 10月8日～11月8日までに学習及び「報告課題1」を提出してください。
Part4	The Little Willow 読解(4)		導入	
		4-1	読解	○報告課題1 解答期限は11月8日まで です。これを過ぎると解答ができないになります。
Part5	The Little Willow 読解(5)		導入	
		5-1	読解	
Part6	The Little Willow 読解(6)		導入	
		6-1	読解	
報告課題1				
Part7	The Little Willow 読解(7)		導入	
		7-1	読解	
Part8	The Little Willow 読解(8)		導入	
		8-1	読解	○学習期間 Part7～Part12 11月9日～12月13日までに学習及び「報告課題2」を提出してください。
Part9	The Little Willow 読解(9)		導入	
		9-1	読解	○報告課題2 解答期限は12月13日まで です。これを過ぎると解答ができないになります。
Part10	The Little Willow 読解(10)		導入	
		10-1	読解	
Part11	The Little Willow 読解(11)		導入	
		11-1	読解	
Part12	The Little Willow 読解(12)		導入	
		12-1	読解	
報告課題2				
受講後アンケート				11月10日～12月16日がアンケート回答期間になります。
復習期間				12月14日～12月16日の間は全章の復習期間にしてください。

科目名	英語Ⅱ	単位
担当教員名	鈴木 孝	1

※理解度チェック及び試験の解答期限・解答回数は講座により異なりますので、各講座とも「授業計画」の「受講期間」欄にて必ず確認してください。

章番号	章名	節番号	節名	受講期間	
	表紙			○本講座は4つのパート、12章で構成されています。 また、それぞれのパートには学習期間が設定されています。 ○各章の視聴(復習)はメディア授業開講期間内であれば、何度でも可能ですが、理解度チェック及び試験は解答期限を過ぎると解答ができなくなりますので注意してください。	
Part1	テキスト 29ページ 1行目から30ページ 5行目まで	導入			
		1-1	関係詞・他		
		1-2	分詞の用法・他		
		1-3	接続詞・他		
		1-4	to 原形動詞の用法・他		
			自己点検		
Part2	テキスト 30ページ 6行目から31ページ21行目まで	導入			
		2-1	接続詞の用法・他		
		2-2	to 原形動詞の用法		
		2-3	it の用法・他		
		2-4	知覚動詞・他		
			自己点検		
Part3	テキスト 31ページ22行目から32ページ28行目まで	導入			
		3-1	that の用法・他	○「理解度チェック1」 解答期限は10月26日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。	
		3-2	前置詞・他		
		3-3	to 原形動詞の用法		
		3-4	文型・他		
			自己点検		
Part4	テキスト 33ページ 1行目から34ページ11行目まで	導入			
		4-1	文型・他		
		4-2	分詞の用法・他		
		4-3	自動詞と他動詞・他		
		4-4	関係詞・他		
			自己点検		
理解度チェック1					
Part5	テキスト 34ページ12行目から35ページ24行目まで	導入			
		5-1	it の用法・他		
		5-2	関係詞・他		
		5-3	分詞の用法・他		
		5-4	比較・他		
			自己点検		
Part6	テキスト 35ページ25行目から37ページ11行目まで	導入			
		6-1	分詞の用法・他	○学習期間 5章～7章 10月27日～11月9日までに学習及び理解度チェック2を受けてください。	
		6-2	仮定法・他		
		6-3	分詞の用法・他		
		6-4	関係詞・他		
			自己点検		
Part7	テキスト 37ページ12行目から39ページ 4行目まで	導入			
		7-1	to 原形動詞・他		
		7-2	等位接続詞・他		
		7-3	知覚動詞・他		
		7-4	that の用法・他		
			自己点検		
理解度チェック2					
Part8	テキスト 39ページ 5行目から40ページ19行目まで	導入			
		8-1	代名詞・他		
		8-2	to 原形動詞の用法		
		8-3	関係詞・他		
		8-4	分詞の用法・他		
			自己点検		
Part9	テキスト 40ページ20行目から42ページ 7行目まで	導入			
		9-1	to 原形動詞・他	○学習期間 8章～10章 11月10日～11月23日までに学習及び理解度チェック3を受けてください。	
		9-2	分詞の用法・他		
		9-3	文型・他		
		9-4	it の用法・他		
			自己点検		
Part10	テキスト 42ページ 9行目から43ページ26行目まで	導入			
		10-1	分詞の用法・他		
		10-2	形容詞句と副詞句・他		
		10-3	関係詞・他		
		10-4	分詞の用法・他		
			自己点検		
理解度チェック3					
Part11	テキスト 43ページ27行目から45ページ 3行目まで	導入			
		11-1	接続詞の用法・他		
		11-2	関係詞・他		
		11-3	接続詞の用法・他		
		11-4	倒置・他		
			自己点検		
Part12	テキスト 45ページ 4行目から46ページ11行目まで	導入			
		12-1	that の用法・他	○「理解度チェック4」 解答期限は12月7日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。	
		12-2	代名詞・他		
		12-3	強調・他		
		12-4	仮定法・他		
			自己点検		
理解度チェック4					
試験					
受講後アンケート					
復習期間					

科目名	英語Ⅲ	単位
担当教員名	真野 一雄	1

※理解度チェック(報告課題)及び試験の解答期限・解答回数は講座により異なりますので、各講座とも「授業計画」の「受講期間」欄にて必ず確認してください。

章番号	章名	項目番号	項目名	受講期間	
	表紙			○本講座は2つのパート、12章で構成されています。 また、それぞれのパートには学習期間が設定されています。 ○各章の視聴(復習)はメディア授業開講期間内であれば何度でも可能ですが、報告課題は解答期限を過ぎると解答ができなくなりますので十分注意してください。	
Part1	Leaf by Niggle(1)	導入		○学習期間 Part1～Part6 10月8日～11月9日までに学習及び「報告課題1」を提出してください。	
		1-1	読解		
Part2	Leaf by Niggle(2)	導入		○報告課題1 解答期限は11月9日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。	
		2-1	読解		
Part3	Leaf by Niggle(3)	導入		○学習期間 Part1～Part6 10月8日～11月9日までに学習及び「報告課題1」を提出してください。	
		3-1	読解		
Part4	Leaf by Niggle(4)	導入		○報告課題1 解答期限は11月9日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。	
		4-1	読解		
Part5	Leaf by Niggle(5)	導入		○学習期間 Part1～Part6 10月8日～11月9日までに学習及び「報告課題1」を提出してください。	
		5-1	読解		
Part6	Leaf by Niggle(6)	導入		○報告課題2 解答期限は12月14日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。	
		6-1	読解		
報告課題1					
Part7	Leaf by Niggle(7)	導入		○学習期間 Part7～Part12 11月10日～12月14日までに学習及び「報告課題2」を提出してください。	
		7-1	読解		
Part8	Leaf by Niggle(8)	導入		○報告課題2 解答期限は12月14日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。	
		8-1	読解		
Part9	Leaf by Niggle(9)	導入		○学習期間 Part7～Part12 11月10日～12月14日までに学習及び「報告課題2」を提出してください。	
		9-1	読解		
Part10	Leaf by Niggle(10)	導入		○報告課題2 解答期限は12月14日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。	
		10-1	読解		
Part11	Leaf by Niggle(11)	導入		○学習期間 Part7～Part12 11月10日～12月14日までに学習及び「報告課題2」を提出してください。	
		11-1	読解		
Part12	Leaf by Niggle(12)	導入		○報告課題2 解答期限は12月14日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。	
		12-1	読解		
報告課題2					
受講後アンケート				11月10日～12月16日がアンケート回答期間になります。	
復習期間				課題提出後の12月15日～12月16日の間は全章の復習期間としてください。	

英語IVMB メディア授業計画

科目名	英語IV	単位
担当教員名	市川 泰弘	1

※理解度チェック(報告課題)及び試験の解答期限・解答回数は講座により異なりますので、各講座とも「授業計画」の「受講期間」欄にて必ず確認してください。

章番号	章名	節番号	節名	受講期間
	表紙			○本講座は2つのパート、12章で構成されています。 また、それぞれのパートには学習期間が設定されています。 ○各章の視聴(復習)はメディア授業開講期間内であれば何度でも可能ですが、報告課題は解答期限を過ぎると解答ができなくなりますので十分注意してください。
第1章	Making the Perfect Cup of Coffee(1)		導入	
		1-1	間違いやすい名詞の使い方[1]	
第2章	Making the Perfect Cup of Coffee(2)	2-1	指示を与えるパラグラフの書き方:過程と順序を知る	○学習期間 第1章～第6章 10月8日～11月5日までに学習及び「報告課題1」を提出してください。
第3章	The Statue of Liberty(1)		導入	○報告課題1 解答期限は11月5日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。
		3-1	間違いやすい名詞の使い方[2]	
第4章	The Statue of Liberty(2)	4-1	描写をするパラグラフの書き方:人や物を描写する	
第5章	Opinion(1)		導入	
		5-1	間違いやすい形容詞の使い方[1]	
第6章	Opinion(2)	6-1	主張を述べるパラグラフの書き方:主張を述べ、展開する	
報告課題1				
第7章	English Language Newspapers(1)		導入	
		7-1	間違いやすい形容詞の使い方[2]	
第8章	English Language Newspapers(2)	8-1	比較と対照を使ったパラグラフの書き方	○学習期間 第7章～第12章 11月6日～12月10日までに学習及び「報告課題2」を提出してください。
第9章	Managing Stress(1)		導入	○報告課題2 解答期限は12月10日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。
		9-1	間違いやすい副詞の使い方	
第10章	Managing Stress(2)	10-1	原因と結果についてのパラグラフの書き方	
第11章	Writing Personal and Business Letters(1)		導入	
		11-1	その他の間違いやすい表現	
第12章	Writing Personal and Business Letters(2)	12-1	私信とビジネス・レターの書き方	
報告課題2				
受講後アンケート				
復習期間				
11月6日～12月16日がアンケート回答期間になります。				
課題提出後の12月11日～12月16日は全章の復習期間です。				

科目名	英語基礎	開講単位数
担当講師名	小澤 賢司	1

※理解度チェック及び試験の解答期限・解答回数は講座により異なりますので、各講座とも「授業計画」の「受講期間」欄にて必ず確認してください。

章番号	章名	節番号	節名	受講期間	
	表紙			○本講座は3つのパート、15章で構成されています。 また、それぞれのパートには学修期間が設定されております。 ○各章の視聴(復習)はメディア授業開講期間内であれば何度も可能ですが、理解度チェック及び試験は解答期限を過ぎると解答ができないになりますので十分注意してください。	
第1章	「品詞」と「文法」(「文法」とは) 現在形 その1	1	受講の注意点／「品詞」と「文法」	○学修期間 1章～5章 10月8日～10月28日までに学修及び理解度チェック1を受けて下さい。	
		2	「文法」とは	○「理解度チェック1」 解答期限は10月28日までです。これを過ぎると解答ができないになります。	
		3	現在形 その1		
第2章	現在形 その2／過去形	1	現在形 その2		
		2	過去形		
		3	「読めて、わかつて、書ける」		
第3章	進行形	1	「現在形」と「進行形」の違い		
		2	進行形の使い方		
		3	未来指示の進行形		
第4章	命令文	1	命令文		
		2	英文読解(Be confident!)		
		3	Questions and Answers(1)		
第5章	単語学修に関するあの話この話	1	言語学習は語彙学習から始まる		
		2	記憶へのカギ その1「反復練習！」		
		3	記憶へのカギ その2「意味を持たせる！」		
		4	自分専用の単語帳を作ろう！		
		5	Questions and Answers(2)		
理解度チェック1					
第6章	疑問詞疑問文	1	名詞が接続する可能性のある疑問詞 what,which,whose	○学修期間 6章～11章 10月29日～11月11日までに学修及び理解度チェック2を受けて下さい。	
		2	名詞が接続しない疑問詞 when,where,why	○「理解度チェック2」 解答期限は11月11日までです。これを過ぎると解答ができないになります。	
		3	who 使用の注意点		
		4	多様な疑問詞 how		
第7章	目的語と補語(文型)その1	1	目的語と補語		
		2	文型学修の意義		
		3	「文型」とは		
第8章	目的語と補語(文型)その2	1	第7章の復習		
		2	第一文型SV／第二文型SVC／第三文型SVO		
		3	第四文型SVOO／第五文型SVOC		
		4	文型のまとめ		
		5	Questions and Answers(3)		
第9章	比較	1	比べたことを示す「印」が必要		
		2	原級(as … as)		
		3	比較級		
		4	最上級		
		5	不規則変化する比較級・最上級		
		6	原級、比較級、最上級を使った応用		
第10章	リスニングに関するあの話この話 その1	1	聞けると英語力が飛躍的にアップする！		
		2	なぜ聞き取れないのか		
		3	どうすれば聞き取れるようになるのか		
第11章	リスニングに関するあの話この話 その2	1	第10章の復習		
		2	実践(1)		
		3	実践(2)		
		4	実践(3)		
		5	リスニングの音源と解答		
理解度チェック2					
第12章	受動態	1	「受動態」とは	○学修期間 11章～15章 11月12日～12月9日までに学修及び理解度チェック3を受けて下さい。	
		2	受動態の存在意義(使用するタイミング)	○「理解度チェック3」 解答期限は12月9日までです。これを過ぎると解答ができないになります。	
		3	by以外の前置詞が後続する受動態表現		
		4	Questions and Answers(4)		
第13章	現在完了その1	1	現在完了をイメージで捉える(継続・経験・完了)		
		2	継続・経験・完了の解釈を助ける単語		
		3	現在完了は過去を表す表現とは共起しない		
第14章	現在完了その2	1	have(has) been to～／have(has) gone to～		
		2	have(has) beenの応用		
		3	英文読解(Circuses)(1)		
		4	英文読解(Circuses)(2)		
第15章	間接疑問文	1	「間接疑問文」とは		
		2	wh-の悩ましい問題		
		3	「時制の一致」とは		
		4	英文読解(今後に向けて)		
理解度チェック3					
試験					
受講後アンケート					
復習期間					

保健体育講義 I M(後期) メディア授業計画

科目名	保健体育講義 I	開講単位数
担当講師名	高橋正則／水落文夫	1

※理解度チェック及び試験の提出期限・回数は講座により異なりますので、各講座とも「授業計画」の「受講期間」欄にて必ず確認してください。

章番号	章名	節番号	節名	受講期間	
	表紙			○本講座は2つのパート、8章で構成されています。 また、それぞれのパートには学修期間が設定されています。 ○各章の視聴(復習)はメディア授業開講期間内であれば何度でも可能ですが、理解度チェック及び試験は解答期限を過ぎると解答ができなくなりますので十分注意してください。	
第1章	現代社会と健康	1	授業について、現代社会の特徴		
		2	肥満とは		
		3	生活習慣病と運動不足病①		
		4	生活習慣病と運動不足病②、健康の概念と新たな健康づくり		
第2章	コミュニケーションスキル	1	コミュニケーションについて	○学修期間 1章～4章 10月8日～10月27日までに学修及び理解度チェック1を受けて下さい。	
		2	コミュニケーションスキル		
		3	コミュニケーションスキルを高めるためのポイント		
		4-1	コミュニケーションスキルを高めるための具体例①		
		4-2	コミュニケーションスキルを高めるための具体例②		
		4-3	コミュニケーションスキルを高めるための具体例③		
第3章	体力の概念	1	体力の概念	○「理解度チェック1」 解答期限は10月27日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。	
		2-1	行動体力①		
		2-2	行動体力②		
		3	防衛体力		
		4	体力トレーニングの必要性、トレーニングの原則		
第4章	オリンピズム	1	オリンピズムとは、オリンピックの歴史①		
		2	オリンピックの歴史②		
		3	近代オリンピック①		
		4	近代オリンピック②、オリンピックの価値		
理解度チェック1					
第5章	運動・スポーツの効果 ～スポーツの功罪～	1	身体活動の捉え方		
		2	身体活動不足の弊害		
		3	運動による心理的効果、スポーツの功罪		
第6章	運動による疲労 ～疲れることの機能～	1	疲労の実態	○学修期間 5章～8章 10月30日～11月10日までに学修及び理解度チェック2を受けて下さい。	
		2	疲労のメカニズム		
		3	疲労のもう一つの機能		
第7章	休養の実態と意義 ～睡眠を見直す～	1	睡眠の機能	○「理解度チェック2」 解答期限は11月10日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。	
		2	睡眠と睡眠不足の状態		
		3	衛生上望ましい睡眠		
		4	積極的休養(アクティブレスト)のすすめ		
第8章	運動学習 ～技能習得のコツ～	1	運動能力を支えるもの		
		2	運動学習を促進する要因(動機づけ)		
		3	運動学習を促進する要因(学習方略)		
理解度チェック2					
試験					
受講後アンケート					
復習期間					
試験終了後は全章の復習期間にしてください。					
11月11日～11月24日がアンケート回答期間になります。					

科目名	憲法	単位
担当教員名	田上 雄大	2

※理解度チェック及び試験の解答期限・解答回数は講座により異なりますので、各講座とも「授業計画」の「受講期間」欄にて必ず確認してください。

章番号	章名	項番号	項名	受講期間	
	表紙			○本講座は4つのパート、12章で構成されています。 また、それぞれのパートには学習期間が設定されています。 ○各章の視聴(復習)はメディア授業開講期間内であれば何度でも可能ですが、理解度チェック及び試験は解答期限を過ぎると解答ができなくなりますので十分注意してください。	
第1章	国会－1		導入		
		1-1	国会の性格		
		1-2	国会の組織		
第2章	国会－2		導入	○学習期間 1章～3章 10月8日～10月22日までに学習及び理解度チェック1を受けてください。	
		2-1	国会議員の地位	○理解度チェック1 解答期限は10月22日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。	
		2-2	国会議員の特典		
第3章	国会－3		導入		
		3-1	国会議員の権能		
		3-2	国会の活動		
理解度チェック1					
第4章	国会－4		導入		
		4-1	国会の権能		
		4-2	議院の権能		
第5章	内閣－1		導入	○学習期間 4章～6章 10月23日～11月5日までに学習及び理解度チェック2を受けてください。	
		5-1	内閣の性格	○理解度チェック2 解答期限は11月5日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。	
		5-2	内閣の組織		
第6章	内閣－2		導入		
		6-1	内閣の総辞職		
		6-2	内閣の権能		
第7章	裁判所－1		導入		
		7-1	裁判所の性格		
第8章	裁判所－2		導入	○学習期間 7章～9章 11月6日～11月19日までに学習及び理解度チェック3を受けてください。	
		8-1	最高裁判所	○理解度チェック3 解答期限は11月19日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。	
		8-2	最高裁判所の権能		
第9章	裁判所－3		導入		
		8-3	違憲審査権		
		8-4	最高裁判所の審理及び裁判		
第10章	裁判所－3		導入		
		9-1	下級裁判所		
		9-2	司法権の独立		
第11章	財政		導入		
		9-3	裁判の公開		
理解度チェック3					
第12章	地方自治		導入	○学習期間 10章～12章 11月20日～12月3日までに学習及び理解度チェック4を受けてください。	
		10-1	財政に関する原則	○理解度チェック4 解答期限は12月3日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。	
		10-2	予算		
第13章	憲法改正		導入		
		10-3	予算執行の監督		
第14章	試験		導入		
		11-1	地方自治の概念		
		11-2	地方自治の基本原理		
第15章	受講後アンケート		導入		
		11-3	地方公共団体		
		11-4	地方公共団体の権能		
第16章	復習期間		導入		
		11-5	地方自治特別法		
理解度チェック4					
試験					
○試験 最終試験は12月4日～12月10日まで が、出題および解答期間となっています。これを過ぎると提出できなくなります。					
受講後アンケート					
12月4日～12月16日がアンケート回答期間になります。					
復習期間					
試験終了後の12月11日～12月16日の間は全章の復習期間にしてください。					

科目名	民法 I	単位
担当教員名	根本 晋一	2

※理解度チェック及び試験の解答期限・解答回数は
講座により異なりますので、各講座とも「授業計画」の
「受講期間」欄にて必ず確認してください。

章番号	章名	節番号	節名	受講期間	
	表紙			○本講座は3つのパート、12章で構成されています。 また、それぞれのパートには学修期間が設定されています。 ○各章の視聴(復習)はメディア授業開講期間内であれば何度でも可能ですが、理解度チェック及び試験は解答期限を過ぎると解答ができなくなりますので十分注意してください。	
第1章	民法学習の前提		導入 一社会生活と法一		
		1-1	法の役割 一自力救済の禁止・紛争解決規範・行為規範・裁判規範など一		
		1-2	公法 一国家と私人の関係一		
		1-3	私法 一私人と私人の関係一		
第2章	民法の全体像	1-4	法的思考力と法的思考過程 一リーガルマインドと法的三段論法・法の解釈と適用など一		
			導入 一民法のかたち一		
		2-1	民法の歴史と沿革 一その生い立ちと成長の過程一		
		2-2	民法の領域 一財産法と家族法・民法典と広義の民法一		
		2-3	民法の適用範囲 一民法と広義の商法一	○学修期間 1章～3章 10月8日～11月10日までに学修及び理解度チェック1を受けてください。	
第3章	民法総則の全体像	2-4	民法の指導原理		
			導入 一民法総則のかたち一		
		3-1	民法解釈の修正原理 一一般条項一		
		3-2	私権の享有主体 一自然人と法人の権利能力と行為能力一		
		3-3	私権の享有主体 一自然人と法人の権利能力と行為能力(制限行為能力者制度を含む)一		
		3-4	住所・居所・不在者財産管理制度・失踪宣告		
		3-5	同時死亡の推定		
		3-6	法人制度		
		3-7	私権の客体 一物の概念一		
		3-8	法律行為(私権の概念・法律行為と意思表示・代理・無効と取消・付款)		
		3-9	期間計算		
		3-10	時効制度 一時効制度の存在理由・取得時効と消滅時効一		
理解度チェック1					
第4章	争点集(1)		導入		
		4-1	一般条項		
		4-2	胎児の権利能力		
第5章	争点集(2)	5-1	無効と取消の二重効 一意思無能力と制限行為能力一	○学修期間 4章～8章 11月11日～11月24日までに学修及び理解度チェック2を受けてください。	
		5-2	制限行為能力者の詐術		
第6章	争点集(3)	6-1	失踪宣告の取消		
		6-2	法人の権利能力と行為能力	○「理解度チェック2」 解答期限は11月24日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。	
第7章	争点集(4)	7-1	権利能力なき社団		
		7-2	法人の不法行為責任		
第8章	争点集(5)	8-1	動機の不法と民法第90条・公序良俗違反と不法原因給付		
		8-2	通謀虚偽表示における第三者の意義		
理解度チェック2					
第9章	争点集(6)	9-1	民法第94条第2項の類推適用		
		9-2	動機の錯誤		
		9-3	錯誤の他人主張・債権者代位権に基づく錯誤無効主張の可否		
第10章	争点集(7)	10-1	取消と登記・詐欺取消における第三者の意義	○学修期間 9章～12章 11月26日～12月8日までに学修及び理解度チェック3を受けてください。	
		10-2	代理人の権限濫用		
		10-3	白紙委任状の交付と表見代理の成否		
第11章	争点集(8)	11-1	無権代理と相続		
		11-2	法定代理と表見代理・民法第761条と表見代理	○「理解度チェック3」 解答期限は12月8日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。	
第12章	争点集(9)	12-1	時効援用権者の範囲		
		12-2	時効完成後の債務承認と時効利益の放棄		
		12-3	割賦払債務における支払の懈怠と消滅時効の起算点		
		12-4	取得時効と登記		
理解度チェック3					
試験					
受講後アンケート					
復習期間					

科目名	民法Ⅱ	単位
担当教員名	根本晋一	2

※理解度チェック及び試験の解答期限・解答回数は講座により異なりますので、各講座とも「授業計画」の「受講期間」欄にて必ず確認してください。

章番号	章名	節番号	節名	受講期間	
	表紙			○本講座は3つのパート、15章で構成されています。 また、それぞれのパートには学修期間が設定されています。 ○各章の視聴(復習)はメディア授業開講期間内であれば何度でも可能ですが、理解度チェック及び試験は解答期限を過ぎると解答ができなくなりますので十分注意してください。	
第1章	担保物権法総論		導入(はじめに)		
		1-1	担保物権		
		1-2	担保の必要性		
第2章	担保物権の種類と機能		導入(はじめに)	○学修期間 1章～3章 10月8日～10月26日までに学修及び理解度チェック1を受けてください。	
		2-1	典型担保物権の種類		
		2-2	機能としての担保物権		
第3章	担保物権の通有性	2-3	非典型担保物権	○理解度チェック1 解答期限は10月26日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。	
			導入(はじめに)		
		3-1	付從性		
第4章	留置権①	3-2	随伴性		
		3-3	不可分性		
		3-4	物上代位性		
第5章	留置権②	3-5	その他の権利		
			理解度チェック1		
			導入(はじめに)		
第6章	同時履行の抗弁権と留置権	4-1	留置権	○学修期間 4章～8章 10月27日～11月9日までに学修及び理解度チェック2を受けてください。	
		4-2	留置権の成立要件①		
		4-3	留置権の成立要件②		
第7章	先取特権		導入(はじめに)	○理解度チェック2 解答期限は11月9日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。	
		7-1	先取特権		
		7-2	先取特権の種類		
第8章	質権	7-3	まとめ		
			導入(はじめに)		
		8-1	質権の概要		
第9章	抵当権①	8-2	質権の対象となるもの		
			理解度チェック2		
			導入(はじめに)		
第10章	抵当権②	9-1	抵当権の意義		
		9-2	近代的抵当権とはなにか		
		9-3	抵当権の問題		
第11章	抵当権③		導入(はじめに)	○学修期間 9章～15章 11月10日～12月7日までに学修及び理解度チェック3を受けてください。	
		10-1	抵当権の有する担保物権の通有性		
		10-2	抵当権の効力の範囲		
第12章	法定地上権		導入(はじめに)	○理解度チェック4 解答期限は12月7日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。	
		11-1	抵当権効力の及ぶ範囲		
		11-2	果実と抵当権		
第13章	抵当不動産の第三者取得者の地位	11-3	担保される債権の範囲		
		11-4	抵当権の侵害		
		11-5	抵当権と用益権との調和		
第14章	譲渡担保		導入(はじめに)		
		12-1	法定地上権の意義		
		12-2	法定地上権の成立		
第15章	仮登記担保	12-3	法定地上権に関するその他の問題点		
		12-4	抵当権と質借人の保護		
			導入(はじめに)		
		13-1	抵当不動産の第三者取得者の地位について		
		13-2	非典型担保物権の諸問題		
			導入(はじめに)		
		14-1	譲渡担保の性格論について		
		14-2	譲渡担保権の設定について		
		14-3	譲渡担保権の効力		
		14-4	集合物譲渡担保		
			導入(はじめに)		
		15-1	総説		
		15-2	仮登記担保権		
			理解度チェック3		
			試験		
受講後アンケート				○「試験」 最終試験は12月8日～12月14日まで が、出題及び解答期間となっています。これを過ぎると提出できなくなります。	
復習期間				12月8日～12月16日がアンケート回答期間になります。	
				試験終了後の12月15日～16日は全章の復習期間にしてください。	

科目名	刑法 I	単位
担当教員名	野村 和彦	2

※理解度チェック及び試験の提出期限・回数は講座により異なりますので、各講座とも「授業計画」の「受講期間」欄にて必ず確認してください。

章番合	章名	節番合	節名	受講期間
	表紙			○本講座は2つのパート、15章で構成されています。 また、それぞれのパートには学修期間が設定されております。 ○各章の視聴(復習)はメディア授業開講期間内であれば何度でも可能ですが、理解度チェック及び試験は解答期限を過ぎると解答ができなくなりますので十分注意してください。
第1章	構成要件該当性と違法性・有責性、正当防衛	1-1 1-2 1-3 1-4 1-5 1-6 1-7 1-8 1-9 自己点検		
第2章	緊急避難、法令行為、正当行為	2-1 2-2 2-3 2-4 2-5 2-6 2-7 自己点検		
第3章	超法規的違法性阻却事由、自殺行為	3-1 3-2 3-3 3-4 3-5 自己点検		
第4章	被害者の承諾、安楽死、尊厳死	4-1 4-2 4-3 4-4 4-5 4-6 4-7 4-8 自己点検		○学修期間 1章～8章 10月8日～11月11日までに学修及び理解度チェック1を受けて下さい。 ○「理解度チェック1」 解答期限は11月11日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。
第5章	有責性の本質、心神喪失	5-1 5-2 5-3 5-4 5-5 5-6 5-7 自己点検		
第6章	行為と責任能力の同時存在の原則、刑事未成年	6-1 6-2 6-3 6-4 6-5 6-6 自己点検		
第7章	法律の錯誤、違法性の意識	7-1 7-2 7-3 7-4 7-5 7-6 自己点検		
第8章	期待可能性、犯罪成立要件のまとめ	8-1 8-2 8-3 8-4 8-5 8-6 8-7 自己点検		
理解度チェック1				

科目名	刑法 I	単位
担当教員名	野村 和彦	2

※理解度チェック及び試験の提出期限・回数は講座により異なりますので、各講座とも「授業計画」の「受講期間」欄にて必ず確認してください。

章番号	章名	節番号	節名	受講期間		
第9章	基本原則を確認する、罪刑法定主義	9-1	具体的法理の背景にある根本原則			
		9-2	刑法の意義			
		9-3	刑法の役割			
		9-4	刑法の立法根拠			
		9-5	罪刑法定主義の意義・根拠			
		9-6	罪刑法定主義の具体的展開			
		9-7	刑法6条との関係 自己点検			
第10章	責任主義	10-1	責任なければ犯罪なし			
		10-2	責任主義の2つの面			
		10-3	個人責任主義を修正した共犯			
		10-4	同時犯の原則と例外			
		10-5	結果的加重犯と因果関係			
		10-6	事実認定学の課題 自己点検			
		11-1	刑罰の種類			
第11章	刑罰の内容と本質	11-2	刑罰以外の制裁			
		11-3	刑罰の害悪性			
		11-4	刑罰の本質			
		11-5	刑罰を数値で捉える			
		11-6	懲役刑の内容			
		11-7	刑務所参観から学ぶ 自己点検			
		12-1	国民の自覚の問題			
第12章	刑罰が克服すべき課題	12-2	刑罰に関する検討課題			
		12-3	社会的弱者が刑事司法過程の中で割合として多くなる			
		12-4	応報刑論と教育刑論			
		12-5	希望がなければ刑罰とは言えない 自己点検			
		13-1	罪数が問われる理由			
		13-2	行為の個数			
		13-3	罪数より前の問題			
第13章	罪数	13-4	法条競合			
		13-5	観念的競合			
		13-6	牽連犯			
		13-7	最も重い刑による			
		13-8	併合罪			
		13-9	不可罰的事後行為			
		13-10	併合罪と量刑判断 自己点検			
第14章	刑の執行	14-1	刑の適用の多様性			
		14-2	法定刑・処断刑・宣告刑			
		14-3	刑の加重・減輕			
		14-4	刑法の場所的適用範囲			
		14-5	刑の執行			
		14-6	刑の消滅 自己点検			
		15-1	刑の執行後			
第15章	刑の執行後、裁判員裁判と刑法、答案・論文の書き方、21世紀の刑法の課題	15-2	裁判員裁判と刑事法			
		15-3	刑法と刑事訴訟法との関係			
		15-4	答案・論文の書き方			
		15-5	21世紀の刑法の課題 自己点検			
		理解度チェック2				
		試験				
		受講後アンケート				
復習期間		12月9日～12月16日がアンケート回答期間になります。				
		試験終了後は全章の復習期間にしてください。				

刑法Ⅱ MB メディア授業計画

科目名	刑法Ⅱ	単位
担当教員名	設楽 裕文	2

※理解度チェック及び試験の解答期限・解答回数は講座により異なりますので、各講座とも「授業計画」の「受講期間」欄にて必ず確認してください。

章番号	章名	節番号	節名	受講期間	
	表紙			○本講座は3つのパート、15章で構成されています。 また、それぞれのパートには学修期間が設定されています。 ○各章の視聴(復習)はメディア授業開講期間内であれば何度でも可能ですが、理解度チェック及び試験は解答期限を過ぎると解答ができなくなりますので十分注意してください。	
第1章	序(MB講義全体について) 騒乱の罪 放火及び失火の罪	1-1	社会的法益に対する罪、国家的法益に対する罪を学ぶにあたって		
		1-2	騒乱罪		
		1-3	放火及び失火の罪		
			自己点検		
第2章	出水及び水利に関する罪 往来を妨害する罪 あへん煙に関する罪 飲料水に関する罪	2-1	出水及び水利に関する罪		
		2-2	往来を妨害する罪	○学修期間 1章～5章 10月8日～10月28日までに学修及び理解度チェック1を受けてください。	
		2-3	あへん煙に関する罪		
		2-4	飲料水に関する罪		
			自己点検		
第3章	公共の信用に対する罪 総説 通貨偽造の罪 文書偽造の罪(I)	3-1	公共の信用に対する罪 総説	○「理解度チェック1」 解答期限は10月28日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。	
		3-2	通貨偽造の罪		
		3-3	文書偽造の罪(I)		
			自己点検		
第4章	文書偽造の罪(II)	4-1	文書偽造の罪(II)		
			自己点検		
第5章	文書偽造の罪(III)	5-1	文書偽造の罪(III)		
			自己点検		
理解度チェック1					
第6章	文書偽造の罪(IV) 有価証券偽造の罪	6-1	文書偽造の罪(IV)		
		6-2	有価証券偽造の罪		
			自己点検		
第7章	支払用カード電磁的記録に関する罪 印章偽造の罪 不正指令電磁的記録に関する罪	7-1	支払用カード電磁的記録に関する罪		
		7-2	印章偽造の罪		
		7-3	不正指令電磁的記録に関する罪		
			自己点検		
第8章	風俗に対する罪 総説 わいせつ、姦淫及び重婚の罪(I)	8-1	風俗に対する罪 総説	○学修期間 6章～10章 10月29日～11月11日までに学修及び理解度チェック2を受けてください。	
		8-2	わいせつ、姦淫及び重婚の罪(I)		
			自己点検		
第9章	わいせつ、姦淫及び重婚の罪(II) 賭博及び富くじに関する罪 礼拝所及び墳墓に関する罪	9-1	わいせつ、姦淫及び重婚の罪(II)	○「理解度チェック2」 解答期限は11月11日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。	
		9-2	賭博及び富くじに関する罪		
		9-3	礼拝所及び墳墓に関する罪		
			自己点検		
第10章	国家的法益に対する罪の全体像 内乱の罪 外患に関する罪 国交に関する罪	10-1	国家的法益に対する罪の全体像		
		10-2	内乱の罪		
		10-3	外患に関する罪		
		10-4	国交に関する罪		
			自己点検		
理解度チェック2					
第11章	国家・地方公共団体の作用を害する罪 総説 公務の執行を妨害する罪	11-1	国歌・地方公共団体の作用を害する罪 総説		
		11-2	公務の執行を妨害する罪		
			自己点検		
第12章	逃走の罪 犯人蔵匿及び証拠隠滅の罪	12-1	逃走の罪		
		12-2	犯人蔵匿及び証拠隠滅の罪		
			自己点検	○学修期間 11章～15章 11月12日～12月9日までに学修及び理解度チェック3を受けてください。	
第13章	偽証の罪 虚偽告訴の罪	13-1	偽証の罪		
		13-2	虚偽告訴の罪		
			自己点検	○「理解度チェック3」 解答期限は12月9日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。	
第14章	職権濫用の罪 賄賂罪(I)	14-1	職権濫用の罪		
		14-2	賄賂罪(I)		
			自己点検		
第15章	賄賂罪(II) まとめ	15-1	賄賂罪(II)		
		15-2	講義全体のまとめ		
			自己点検		
理解度チェック3					
試験					
○「試験」 最終試験は12月10日～12月16日までが、出題及び提出期間となっています。これを過ぎると提出できなくなります。					
受講後アンケート					
12月10日～12月16日がアンケート回答期間になります。					
復習期間					
試験終了後は全章の復習期間にしてください。					

科目名	国際政治学／国際政治論／国際政治学概論	開講単位数
担当講師名	柏本 英雄	2

※理解度チェック及び試験の提出期限・回数は講座により異なりますので、各講座とも「授業計画」の「受講期間」欄にて必ず確認してください。

章番号	章名	節番号	節名	受講期間
	表紙			○本講座は3つのパート、15章で構成されています。 また、それぞれのパートには学修期間が設定されています。 ○各章の視聴(復習)はメディア授業開講期間内であれば何度でも可能ですが、理解度チェック及び試験は解答期限を過ぎると解答ができなくなりますので十分注意してください。
第1章	現代の安全保障をどう読むのか1 (テキスト第5章前半)	1-1 1-2 2-1 2-2 2-3	(導入)テキスト第5章の学びの目的 国際社会における安全保障とは何か① 国際社会における安全保障とは何か② 国家の安全保障と地域の安全保障① 国家の安全保障と地域の安全保障② 国家の安全保障と地域の安全保障③	
第2章	現代の安全保障をどう読むのか2 (テキスト第5章後半)	1 2 3	伝統的安全保障と非伝統的安全保障 安全保障はどのように捉えられてきたのか テキスト第5章のまとめ	
第3章	国際紛争・国内紛争をどう解決するのか1 (テキスト第15章前半)	1-1 1-2 2-1 2-2	(導入)テキスト第15章の学びの目的 ポスト冷戦時代の紛争要因① ポスト冷戦時代の紛争要因② 国連は紛争解決にどのように関わってきたのか① 国連は紛争解決にどのように関わってきたのか②	○学修期間 1章～5章 10月8日～10月28日までに学修及び理解度チェック1を受けて下さい。
第4章	国際紛争・国内紛争をどう解決するのか2 (テキスト第15章後半)	1-1 1-2 2-1 2-2 3	紛争解決のための政府間協力—平和維持から平和構築へ① 紛争解決のための政府間協力—平和維持から平和構築へ② 紛争解決から人間の安全保障の実現へ① 紛争解決から人間の安全保障の実現へ② パラダイムの転換 テキスト第15章のまとめ	○「理解度チェック1」 解答期限は10月28日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。
第5章	北東アジアの政治と国際関係をどう読むのか1 (テキスト第6章前半)	1-1 1-2 1-3 1-4 2-1 2-2	(導入)テキスト第6章の学びの目的 朝鮮半島の政治とその課題① 朝鮮半島の政治とその課題② 朝鮮半島の政治とその課題③ 朝鮮半島の政治とその課題④ 韓国の外交と日韓関係① 韓国の外交と日韓関係②	
理解度チェック1				
第6章	北東アジアの政治と国際関係をどう読むのか2 (テキスト第6章後半)	1-1 1-2 1-3 2	中国の外交と日中関係① 中国の外交と日中関係② 中国の外交と日中関係③ 日中韓の新たな関係構築へ向けて テキスト第6章のまとめ	
第7章	国際社会における日本の位置づけをどう読むのか (テキスト第7章)	1-1 1-2 1-3 2-1 2-2	(導入)テキスト第7章の学びの目的 日本の安全保障と領土問題① 日本の安全保障と領土問題② 日本の経済外交① 日本の経済外交②	○学修期間 6章～10章 10月29日～11月11日までに学修及び理解度チェック2を受けて下さい。
第8章	地球環境問題をどう解決するのか1 (テキスト第12章前半)	1-1 1-2 1-3 2	(導入)テキスト第12章の学びの目的 地球環境問題の特徴と国際関係① 地球環境問題の特徴と国際関係② 地球環境問題の特徴と国際関係③ 地球環境ガバナンス	○「理解度チェック2」 解答期限は11月11日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。
第9章	地球環境問題をどう解決するのか2 (テキスト第12章後半)	1-1 1-2 2-1 2-2	地球温暖化問題とポスト京都議定書の国際的枠組み① 地球温暖化問題とポスト京都議定書の国際的枠組み② 地球環境ガバナンスの現状① 地球環境ガバナンスの現状② テキスト第12章のまとめ	
第10章	リージョナリズムと欧州統合1 (テキスト第10章前半)	1-1 2-1 2-2	(導入)テキスト第10章の学びの目的 ヨーロッパにおけるリージョナリズム 欧州統合の歴史① 欧州統合の歴史② 年表整理	
理解度チェック2				
第11章	リージョナリズムと欧州統合2 (テキスト第10章後半)	1-1 1-2 1-3 1-4 1-5 2 3	EUを運営する諸機関① EUを運営する諸機関② EUを運営する諸機関③ EUを運営する諸機関④ EUを運営する諸機関⑤ 多数決と民主主義 EUの諸政策 EUの拡大と近隣諸国政策 複合危機下のEUの現状 テキスト第10章のまとめ	
第12章	非国家アクターの台頭をどう見るのか (テキスト第13章)	1-1 1-2 2 3	(導入)テキスト第13章の学びの目的 国家アクターと非国家アクター① 国家アクターと非国家アクター② アクターの深層変化 地球公共空間での非国家アクターの役割 テキスト第13章のまとめ	○学修期間 11章～15章 11月12日～11月25日までに学修及び理解度チェック3を受けて下さい。
第13章	市民社会は世界を動かすことができるのか1 (テキスト第14章前半)	1-1 1-2 2-1 2-2 2-3	(導入)テキスト第14章の学びの目的 市民社会の現代的地位① 市民社会の現代的地位② 市民社会を見る視点① 市民社会を見る視点② 市民社会を見る視点③	○「理解度チェック3」 解答期限は11月25日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。
第14章	市民社会は世界を動かすことができるのか2 (テキスト第14章後半)	1-1 1-2 1-3 2	世界を動かす市民社会① 世界を動かす市民社会② 世界を動かす市民社会③ 市民社会の可能性と限界 テキスト第14章のまとめ	
第15章	国際政治学MBのレビュー	1 2 3 4	1～4章のレビュー 5～7章のレビュー 8～9章のレビュー 10～14章のレビュー	
理解度チェック3				
試験				
受講後アンケート				
復習期間				
11月26日～12月16日がアンケート回答期間になります。				
試験終了後は全章の復習期間にしてください。				

科目名	政治学原論	単位
担当教員名	荒井祐介	2

※理解度チェック及び試験の解答期限・解答回数は講座により異なりますので、各講座とも「授業計画」の「受講期間」欄にて必ず確認してください。

章番号	章名	節番号	節名	受講期間
	表紙			○本講座は3つのパート、15章で構成されています。 また、それぞれのパートには学修期間が設定されています。 ○各章の視聴(復習)はメディア授業開講期間内であれば何度でも可能ですが、理解度チェック及び試験は解答期間を過ぎると解答ができなくなりますので十分注意してください。
第1章	組織された集団	1節	(1)この章の問い合わせ (2)カット専門店の躍進 (3)散髪屋と美容室	
		2節	(4)カット専門店の悩み (5)鉄の三角同盟のアクター	
		3節	(6)少数者たちが支配する? (7)車検制度の場合	
		4節	(8)コストとペネフィット (9)集団理論と多元的民主主義 (10)フリーライダー問題と少数者優位 (11)既得権益の横行?	
			自己点検	
第2章	官と民の関係	1節	(1)この章の問い合わせ (2)進化を続ける携帯電話 (3)広がるケータイの世界 (4)安くなり、おもしろくなつたわけ	
		2節	(5)まだまだこれから? (6)自然独占	
		3節	(7)市場の失敗 (8)公共財 (9)情報の非対称性	
		4節	(10)政府の失敗 (11)選択の問題	
			自己点検	
第3章	大企業と政治	1節	(1)この章の問い合わせ (2)あなたが就職したい企業はどこですか? (3)銀行経営の行き詰まり	○学修期間 1章～5章 10月8日～10月28日までに学修及び理解度チェック1を受けて下さい。
		2節	(4)財界 (5)厚かましい政治家? (6)公害規制	○「理解度チェック1」 解答期限は10月28日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。
		3節	(7)短期的利益と長期的利益 (8)誰がコストを引き受けるか (9)政府の自立性とそれへの制約	
		4節	(10)製造物責任法 (11)紛争と交渉 (12)影響力の分布	
			自己点検	
第4章	選挙と政治	1節	(1)この章の問い合わせ (2)政治家への道 (3)望まれる政策投票? (4)政策で選べる?	
		2節	(5)政策投票の簡略化 (6)人で選べる? (7)小選挙区制で何か変わることか?	
		3節	(8)政治家の自由裁量 (9)役に立つ政党? (10)政党の誕生 (11)戦後日本の政党対立 (12)無党派層 (13)政策投票とその問題点	
			自己点検	
第5章	地方分権	1節	(1)この章の問い合わせ (2)パスポートは誰が発行しているのか	
		2節	(3)国は地方に仕事をさせている (4)沖縄の米軍基地と代理署名 (5)米軍基地の辺野古移設をめぐる対立	
		3節	(6)機関委任事務をめぐる論争 (7)地方の仕事の範囲の決め方	
		4節	(8)はっきりと分けるのがよい? (9)首長の役割 (10)現在の分権	
			自己点検	
理解度チェック1				
第6章	マスメディアと政治	1節	(1)この章の問い合わせ (2)官邸に行ってもいいかな? (3)テレビと政治 (4)みのポリティクス (5)マスメディアの影響力	
		2節	(6)テレビと新聞の違い (7)マスメディアは中立か (8)マスメディアは正義の味方?	
		3節	(9)官官接待の場合 (10)老人問題の場合 (11)きまぐれなメディア	
			自己点検	
第7章	国会	1節	(1)この章の問い合わせ (2)小泉政権をどう説明するか? (3)2代続けて総理大臣の辞任 (4)あらためて脚光を浴びる参議院	
		2節	(5)議院内閣制	
		3節	(6)内閣提出法案と議員提出法案 (7)外国と比較してみる (8)重要な事例を調べる	
		4節	(9)ねばりのものと1:時間の制約 (10)ねばりのものと2:国民の支持 (11)これから国会はどうなるのか	
			自己点検	
第8章	内閣と総理大臣	1節	(1)この章の問い合わせ (2)選ばれ方の違い (3)仕事場の違い	○学修期間 6章～10章 10月29日～11月11日までに学修及び理解度チェック1を受けて下さい。
		2節	(4)議院内閣制と大統領制 (5)どちらが強い? (6)影響力資源 (7)衆議院の解散権	○「理解度チェック2」 解答期限は11月11日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。
		3節	(8)総理大臣でなくなるとき (9)1990年代の例 (10)閣僚の任免権	
		4節	(11)議院内閣制は弱いリーダーをつくり出すのか? (12)小泉総理大臣以降 (13)何が影響力を決めるのか?	
			自己点検	
第9章	官僚	1節	(1)この章の問い合わせ (2)大臣と事務次官の乱闘 (3)官僚の期待する大臣像 (4)大臣は本当に無能か?	
		2節	(5)キャリア官僚 (6)採用 (7)昇進 (8)退職	
		3節	(9)天下り (10)特殊法人 (11)天下り批判	
			自己点検	
第10章	冷戦の終わりからテロとの戦いへ	1節	(1)この章の問い合わせ (2)戦後の国際環境 (3)冷戦構造と自由貿易体制	
		2節	(4)占領改革、日本国憲法 (5)吉田茂の対応	
		3節	(6)吉田路線の定着 (7)9.11とテロとの戦い、そして新冷戦? (8)グローバリゼーション (9)日本の課題	
			自己点検	
理解度チェック2				

科目名	政治学原論	単位
担当教員名	荒井祐介	2

※理解度チェック及び試験の解答期限・解答回数は講座により異なりますので、各講座とも「授業計画」の「受講期間」欄にて必ず確認してください。

章番号	章名	節番号	節名	受講期間		
第11章	経済交渉	1節	(1)この章の問い合わせ (2)国際貿易における比較優位 (3)日米自動車交渉 (4)CIAスパイ事件発覚?	○学修期間 11章～15章 11月12日～12月9日までに学修及び理解度チェック1を受けて下さい。		
		2節	(5)冷戦の終わりとCIAの経済シフト (6)ハイ・アンド・ロー (7)国内政治と対外政策			
		3節	(8)外圧のサイクル (9)紛争の長期化 (10)アメリカの論理 (11)USTRとスープー301条			
		4節	(12)構造協議アプローチ (13)管理貿易アプローチ (14)アメリカとの貿易摩擦が教えるもの			
			自己点検			
第12章	国境を越える政治	1節	(1)この章の問い合わせ (2)国境を越える環境問題 (3)外部不経済としての公害問題 (4)地球環境問題 (5)硬い殻に包まれた国家	○「理解度チェック1」 解答期限は12月9日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。		
		2節	(6)相互依存の深まり (7)トランクナルな交流 (8)環境問題と国際関係			
		3節	(9)平和への希望? (10)相互依存と紛争 (11)困った国とどうつきあうか			
			自己点検			
第13章	医師不足	1節	(1)この章の問い合わせ (2)37年ぶりの医学部新設	○「試験」 リポート試験は12月10日～12月16日まで が、出題及び提出期間となっています。これを過ぎると提出できなくなります。		
		2節	(3)政治が後押しした医師数拡大 (4)抑制に転じた医師数政策			
		3節	(5)地域医療の再生は果たせるか (6)地域社会と地域医療			
			自己点検			
第14章	外国人労働者	1節	(1)この章の問い合わせ (2)日本を支える外国人労働者	○「試験」 リポート試験は12月10日～12月16日まで が、出題及び提出期間となっています。これを過ぎると提出できなくなります。		
		2節	(3)外国人労働者の受け入れ			
		3節	(4)生活者としての外国人労働者 (5)外国人労働者をめぐる政治の役割			
			自己点検			
第15章	エネルギー問題	1節	(1)この章の問い合わせ (2)政治化するエネルギー問題 (3)イージーオイル時代の終焉	12月10日～12月16日がアンケート回答期間になります。		
		2節	(4)有限な地球での無限成長は可能なのか?			
		3節	(5)政治的解決のための課題(6)価値選択という難題			
			自己点検			
理解度チェック3						
試験						
受講後アンケート						
復習期間						

国語学概論MB メディア授業計画

科目名	国語学概論	開講単位数
担当講師名	鈴木 功真	2

※理解度チェック及び試験の提出期限・回数は講座により異なりますので、各講座とも「授業計画」の「受講期間」欄にて必ず確認してください。

章番号	章名	節番号	節名	受講期間	
	表紙			○本講座は3つのパート、15章で構成されています。 また、それぞれのパートには学修期間が設定されています。 ○各章の視聴(復習)はメディア授業開講期間内であれば何度でも可能ですが、理解度チェック及び試験は解答期限を過ぎると解答ができなくなりますので十分注意してください。	
第1章	日本語の語彙1-1 語彙、量的分布、理解語彙と使用語彙、語彙調査と基本語彙	1	ガイダンス		
		2	語彙とは		
		3	日本語の語彙の量的分布理解語彙・使用語彙・語彙の習得		
		4	語彙調査と基本語彙 まとめ		
第2章	日本語の語彙1-2 語の意味、同義語・類義語・対義語	1-1	語の意味①	○学修期間 1章～5章 10月8日～10月28日までに学修及び理解度チェック1を受けて下さい。	
		1-2	語の意味②		
		2-1	同義語・類義語・対義①		
		2-2	同義語・類義語・対義②		
		3	まとめ 復習問題		
第3章	日本語の語彙2-1 語種、漢語・和語・外来語	1	語種とは語種各論-漢語と和語①	○「理解度チェック1」	
		2	語種各論-漢語と和語② 語種各論-外来語①	解答期限は10月28日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。	
		3	語種各論-外来語② まとめ		
第4章	日本語の語彙2-2 語構成、複合語	1-1	語構成①		
		1-2	語構成②		
		2	複合に関する諸問題		
		3	まとめ、復習問題		
第5章	日本語の語彙3-1 位相、女性語と男性語、隠語	1	位相とは		
		2	女性語と男性語		
		3	隠語 まとめ		
理解度チェック1					
第6章	日本語の語彙3-2 武者詞、六方詞、忌詞、近代以前の辞書	1-1	武者詞・六方詞		
		1-2	忌詞		
		2-1	近代以前の辞書(補説) まとめ、復習問題		
第7章	日本語の文法1-1 学校文法とその限界、文法と言語生活	1-1	学校文法とその限界① 文法と学校文法	○学修期間	
		1-2	学校文法とその限界② 品詞分類のこと	6章～10章 10月29日～11月11日までに学修及び理解度チェック2を受けて下さい。	
		1-3	学校文法とその限界③ 文構造の説明		
		2	文法と言語生活 まとめ		
第8章	日本語の文法1-2 活用、敬語、主語について	1-1	活用①	○「理解度チェック2」	
		1-2	活用②	解答期限は11月11日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。	
		2	敬語主語について(補説)		
		3	まとめ、復習問題		
第9章	日本語の文法2-1 現代の文法研究の考え方、語用論	1-1	現代の文法研究の考え方①		
		1-2	現代の文法研究の考え方②		
		3	語用論 文法論の隣接分野 まとめ		
第10章	日本語の文法2-2 現代の文法研究への導入	1-1	現代語文法への導入 ①迷惑受身		
		1-2	現代語文法への導入 ②金田一の四分類 ③時制		
		1-3	現代語文法への導入 ④「だろう」と「らしい」 まとめ、復習問題		
理解度チェック2					
第11章	日本語の方言1 方言、東西の境界線と方言区画	1	方言とは		
		2-1	東西のことばの境界線と方言区 ①ことばの東西差		
		2-2	東西のことばの境界線と方言区 ②方言区画論		
		3	言語地理学 まとめ		
第12章	日本語の方言2 言語地図とその解釈、方言と共通語、新方言・ネオ方言	1	言語地図とその解釈	○学修期間	
		2	方言と共通語	11章～15章 11月12日～11月25日までに学修及び理解度チェック3を受けて下さい。	
		3	新方言・ネオ方言 まとめ、復習問題		
第13章	〔補説〕日本語の文体 文体とは、文体をみる観点、言文一致、現代の文体	1	「文体」とは何か①	○「理解度チェック3」	
		2	「文体」とは何か② 表記・文法、語彙、敬語・位相からみる「文体」①	解答期限は11月25日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。	
		3	表記・文法、語彙、敬語・位相からみる「文体」② 言文一致、現代の文体、作家の「個別的文章」も日本語学に分析される		
第14章	日本語の位置1 日本語の戸籍、日本語はどういう言語か	1	日本語の戸籍		
		2-1	日本語はどういう言語か①		
		2-2	日本語はどういう言語か② まとめ		
第15章	日本語の位置2 言語の系統と比較言語学、日本語系統論の展開	1-1	言語の系統と比較言語学		
		1-2	日本語系統論の展開①		
		1-3	日本語系統論の展開② まとめ、復習問題		
理解度チェック3					
試験					
受講後アンケート					
復習期間					
○試験 リポート試験は11月26日から12月16日までが、出題及び提出期間となっています。これを過ぎると提出できなくなります。					
11月26日～12月16日がアンケート回答期間になります。					
試験終了後は全章の復習期間にしてください。					

科目名	国文学講義V(近代)	単位
担当教員名	榎本 正樹	2

※理解度チェック及び試験の解答期限・解答回数は講座により異なりますので、各講座とも「授業計画」の「受講期間」欄にて必ず確認してください。

章番号	章名	節番号	節名	受講期間
	表紙			○本講座は4つのパート、12章で構成されています。 また、それぞれのパートには学習期間が設定されています。 ○各章の視聴(復習)はメディア授業開講期間内であれば、何度も可能ですが、理解度チェック及び試験は解答期限を過ぎると解答ができなくなりますので注意してください。
第1章	国文学講義V(近代)MBの学習目標と範囲		導入ー学習目標と範囲の概要ー	
		1-1	文芸思潮別作家・作品一覧ー近代文学の流れー	
		1-2	明治のハイカラ	
		1-3	大正のモダニズム	
			自己点検	
第2章	写実主義の時代(1)		導入ー近世から継続された読み物ー	
		2-1	滝沢馬琴の『南総里見八犬伝』	
		2-2	坪内逍遙の『小説神髄』	
		2-3	硯友社の文学傾向	
		2-4	硯友社社則	
		2-5	尾崎紅葉と幸田露伴の文学	
第3章	写実主義の時代(2)		自己点検	
			導入ー近代人の苦悩ー	
		3-1	二葉亭四迷の『浮雲』	
		3-2	森鷗外の『舞姫』	
		3-3	樋口一葉の『十三夜』	
第4章	「文学界」と北村透谷ー浪漫主義へー		自己点検	
			導入ー浪漫主義・文学の芽ぶきー	
		4-1	厭世詩家と女性	
		4-2	石坂ミナ宛書簡(1887年明治21年9月3日付)	
		4-3	与謝野晶子の『みだれ髪』	
第5章	西欧からの自然主義思潮の移入		自己点検	
			理解度チェック1	
			導入ー西欧からの自然主義思潮の移入ー	
		5-1	永井荷風の『地獄の花』跋文・小杉天外の『はやり唄』の叙	
		5-2	島崎藤村の詩から散文(小説)へ	
第6章	日本自然主義文学		5-3	島崎藤村の写生文の確立ー文章によるスケッチの試みー
			自己点検	
			導入ー夏目漱石が感動した作品ー	
		6-1	島崎藤村『破戒』の魅力	
		6-2	『破戒』を読んでみよう	
第7章	明治40年代の文学		6-3	明治40年代以降の藤村文学の動向
			自己点検	
			導入ー思想弾圧下の文学ー	
		7-1	永井荷風の『花火』	
		7-2	ドレフュー事件に警えられた事件	
第8章	非自然主義の文学ー夏目漱石・森鷗外の文学とその流れー		7-3	石川啄木の『時代閉塞の現状』冬の時代
			7-4	無理想・無解決の文学全盛時代
			自己点検	
			理解度チェック2	
			導入ー留学体験者の文学観ー	
第9章	反自然主義の文学①ー理想主義の文学『白樺』ー		8-1	『文芸とヒロイック』
			8-2	『坊ちゃん』
			8-3	その後の漱石文学<中期三部作と称される作品>
			8-4	『それから』
			8-5	森鷗外の歴史小説『興津彌五右衛門の遺書』
第10章	反自然主義の文学②ー「新思潮派」の文学ー		8-6	漱石・鷗外の非自然主義文学の性格
			8-7	「スバル」派の文学
			自己点検	
			理解度チェック3	
			導入ー現実肯定と理想主義ー	
第11章	新感覚派の文学ーモダニズムの文学ー		9-1	『白樺』
			9-2	『新しき村』の建設の試み
			9-3	志賀直哉の『范の犯罪』
			9-4	有島武郎の『宣言一つ』
			自己点検	
第12章	プロレタリア文学ー労働者の文学と国家権力の弾圧による転向ー		導入	
			12-1	『種蒔く人』の創刊とその時代背景
			12-2	『文芸戦線』の刊行ーマルクス主義とロシア革命の影響ー
			12-3	『海に生くる人々』の概略
			12-4	『驢馬』と中野重治の詩一夜明け前のさよなら、機関車ー
			12-5	小林多喜二の『蟹工船』
			12-6	小林多喜二の死とプロレタリア文学弾圧の時代
			自己点検	
			理解度チェック4	
			試験	○「試験」 最終試験は12月7日～12月13日までが、出題及び解答期間となっています。これを過ぎると提出できなくなります。
			受講後アンケート	12月7日～12月13日がアンケート回答期間になります。
			復習期間	試験終了後の12月14日～12月16日の間は全章の復習期間にしてください

科目名	イギリス文学史 I	単位
担当教員名	猪野 恵也	2

※理解度チェック及び試験の解答期限・解答回数は講座により異なりますので、各講座とも「授業計画」の「受講期間」欄にて必ず確認してください。

章番号	章名	節番号	節名	利用機能	
	表紙			○本講座は3つのパート、15章で構成されています。 また、それぞれのパートには学修期間が設定されています。 ○各章の視聴(復習)はメディア授業開講期間内であれば何度でも可能ですが、理解度チェック及び試験は解答期限を過ぎると解答ができなくなりますので十分注意してください。	
第1章	王政復古期から新古典主義の文学へ		導入(はじめに)		
		1-1	王政復古と二大政党の誕生、そして名誉革命へ		
		1-2	17世紀の散文作家たち		
		1-3	理性の時大へ		
			自己点検		
第2章	新古典主義の文学		導入(はじめに)		
		2-1	ジョン・ドライデンと新古典主義		
		2-2	アレグザンダー・ポーポーと新古典主義(1)		
		2-3	アレグザンダー・ポーポーと新古典主義(2)		
			自己点検		
第3章	作品を読む<1>		導入(はじめに)	○学修期間 1章～5章 10月8日～10月25日までに学修及び理解度チェック1を受けてください。	
		3-1	ドライデンの「アレグザンダーの饗宴」	○「理解度チェック1」 解答期限は10月25日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。	
		3-2	ポーポーの『髪の毛の強奪』の冒頭部を読む		
			自己点検		
			導入(はじめに)		
第4章	17世紀の演劇・ジャーナリズム・女性作家の登場	4-1	王政復古期の演劇—風習喜劇の発達		
		4-2	ジャーナリズムの時代の始まり		
		4-3	女性詩人レディ・ウインチルシー、及び他の詩人たち		
			自己点検		
			導入(はじめに)		
第5章	ジョンソン博士とその周辺	5-1	18世紀文学界の中心的存在、サミュエル・ジョンソン		
		5-2	ジョンソン博士とその周辺		
		5-3	風習喜劇の頂点—リチャード・シェリダン		
			自己点検		
			理解度チェック1		
第6章	小説の時代の始まり		導入(はじめに)		
		6-1	小説とはなにか		
		6-2	最初の本格的小説『ロビンソン・クルーソー』ほか		
		6-3	風刺文学の代表作品『ガリヴァー旅行記』ほか		
			自己点検		
第7章	近代小説の幕開け	7-1	18世紀の社会状況		
		7-2	最初の近代小説—サミュエル・リチャードソン『パミラ』		
		7-3	リチャードソンの『クラリッサ』と『サー・チャールズ・グランディソン』		
			自己点検		
			8-1 フィールディング(1)「散文による喜劇的叙事詩」	○学修期間 6章～10章 10月26日～11月8日までに学修及び理解度チェック2を受けてください。	
第8章	ヘンリー・フィールディングとトバイアス・スモレット	8-2	フィールディング(2)代表作『トム・ジョーンズ』	○「理解度チェック2」 解答期限は11月8日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。	
		8-3	トバイアス・スモレット、元祖ピカレスク小説家		
			自己点検		
			導入(はじめに)		
		9-1	『トリストラム・シャンディ』—この奇妙な小説		
第9章	スターンとセンティメンタル小説、及び家庭小説	9-2	スターン『センティメンタル・ジャーニー』とマッケンジー『感情の人』		
		9-3	家庭小説の台頭		
			自己点検		
			導入(はじめに)		
		10-1	ゴシック小説の流行		
第10章	ゴシック小説家たち	10-2	ホレス・ウォルポール『オトラント城』		
		10-3	アン・ラドクリフ『ユードルフォー城の秘密』ほか		
			自己点検		
			理解度チェック2		
			導入(はじめに)		
第11章	ロマン主義の前衛詩人たち	11-1	ロマン主義とは何か		
		11-2	トマス・グレイ『田舎の墓場にて詠める哀歌』		
		11-3	ウィリアム・クーパーほか、18世紀のロマン派前衛詩人たち		
			自己点検		
			12-1 トマス・グレイ『田舎の墓場にて詠める哀歌』を読む	○学修期間 11章～15章 11月9日～12月6日までに学修及び理解度チェック3を受けてください。	
第12章	作品を読む<2>	12-2	クーパーとコリンズの「タベに寄せる歌」		
			自己点検		
		13-1	幻視者 ウィリアム・ブレイク		
		13-2	予言者 ウィリアム・ブレイク		
		13-3	ブレイクの詩を読む—「迷子の男の子」と「ロンドン」	○「理解度チェック3」 解答期限は12月6日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。	
第13章	ウィリアム・ブレイクの詩を読む		自己点検		
		14-1	恋する農民詩人 バート・バーンズ		
		14-2	スコットランドとバーンズを歌う		
			自己点検		
			導入(はじめに)		
第14章	ロバート・バーンズの詩を読む	15-1	ゴド윈対マルサス		
		15-2	最後にもう一度、イギリス文学史を学ぶことについて		
			自己点検		
			理解度チェック3		
			試験	○「試験」 最終試験は12月7日～12月13日まで が、出題及び解答期間となっています。これを過ぎると提出できなくなります。	
受講後アンケート				12月7日～12月13日がアンケート回答期間になります。	
復習期間				試験終了後の12月14日～12月16日の間は全章の復習期間にしてください。	

科目名	英文法	単位
担当教員名	山岡 洋	2

※理解度チェック及び試験の解答期限・解答回数は講座により異なりますので、各講座とも「授業計画」の「受講期間」欄にて必ず確認してください。

章番号	章名	節番号	節名	受講期間	
	表紙			○本講座は4つのパート、12章で構成されています。 また、それぞれのパートには学習期間が設定されています。 ○各章の視聴(復習)はメディア授業開講期間内であれば何度でも可能ですが、理解度チェック及び試験は解答期限を過ぎると解答ができなくなりますので十分注意してください。	
第1章	助動詞(1) Auxiliary Verbs(1)		導入		
		1-1	助動詞とは(What is a verb?)		
			自己点検		
第2章	助動詞(2) Auxiliary Verbs(2)	2-1	法(mood)		
		2-2	直接法(indicative mood)		
		2-3	仮定法(subjunctive mood)		
		2-4	命令法(imperative mood)		
			自己点検		
第3章	助動詞(3) Auxiliary Verbs(3)	3-1	法助動詞(modal auxiliaries)		
		3-2	can,could[能力・可能][許可][可能性]		
		3-3	may,might[許可][可能性][祈願][目的節・讓歩節の中で]		
		3-4	must[義務][推量]		
		3-5	その他(need,dare,had better,ought,used)		
			自己点検		
第4章	助動詞(4) Auxiliary Verbs(4)	4-1	「アスペクト」と「動作動詞／状態動詞」		
		4-2	時制(tense)		
		4-3	未来を表す表現(future expressions)		
			自己点検		
第5章	助動詞(5) Auxiliary Verbs(5)	5-1	完了形(perfect)		
		5-2	進行形(progressive)		
		5-3	受動態(passive voice)		
			自己点検		
理解度チェック1					
第6章	形容詞・副詞 Adjectives and Adverbs		導入		
		6-1	形容詞・副詞とは(What is an adjective?)		
		6-2	補部になる形容詞・副詞		
		6-3	修飾語としての形容詞・副詞		
		6-4	比較		
第7章	前置詞 Prepositions		自己点検		
			導入		
		7-1	前置詞とは(副詞・接続詞との関係)		
		7-2	意味による前置詞の分類(場所・時)		
理解度チェック2					
第8章	不定詞 Infinitive		自己点検		
			導入		
		8-1	不定詞とは(名詞的用法・形容詞的用法・副詞的用法)		
		8-2	不定詞の意味上の主語		
第9章	分詞 Particles	8-3	不定詞を含む表現		
			自己点検		
		9-1	分詞とは(現在分詞と過去分詞)		
		9-2	名詞修飾の分詞		
		9-3	補部になる分詞(S+V+分詞・S+V+O+分詞)		
第10章	動名詞 Gerund	9-4	分詞構文		
			自己点検		
		10-1	動名詞とは(What is a gerund?)		
		10-2	動名詞の働き		
		10-3	動名詞の意味上の主語		
第11章	接続詞 Conjunctions	10-4	動名詞と分詞・不定詞		
			自己点検		
		11-1	接続詞とは(What are conjunctions?)		
		11-2	等位接続詞(Coordinate Conjunction:CC)		
		11-3	従属接続詞(Subordinate Conjunction:SC)		
		11-4	名詞的従属接続詞(Nominal Subordinate Conjunction:NSC)		
第12章	関係詞 Relatives	11-5	副詞的従属接続詞(Adverbial Subordinate Conjunction:ASC)		
			自己点検		
			導入		
		12-1	関係詞とは(What are relatives?)		
		12-2	関係代名詞		
試験		12-3	関係副詞		
			自己点検		
			導入		
			自己点検		
理解度チェック4					
○「試験」 最終試験は12月8日～12月14日までが、出題及び解答期間となっています。これを過ぎると提出できなくなります。					
受講後アンケート					
12月8日～12月16日がアンケート回答期間になります。					

復習期間

試験終了後の12月15日～12月16日の間は全章の復習期間にしてください。

科目名	英語文学概説／英米文学概説	単位
担当教員名	鈴木 孝	2

※理解度チェック及び試験の解答期限・解答回数は講座により異なりますので、各講座とも「授業計画」の「受講期間」欄にて必ず確認してください。

章番号	章名	節番号	節名	受講期間
	表紙			○本講座は4つのパート、12章で構成されています。 また、それぞれのパートには学習期間が設定されております。 ○各章の視聴(復習)はメディア授業開講期間内であれば何度でも可能ですが、理解度チェック及び試験は解答期限を過ぎると解答ができなくなりますので十分注意してください。
第1章	アメリカ文化・文学の特徴と植民地時代の文学	導入		
		1-1	宗教性・精神性	
		1-2	放浪性・移動好み	
		1-3	政治的関心・社会的関心	
		1-4	国土の広さと文化の多様性	
		1-5	植民地時代—アメリカ文学の起源	
		1-6	南部ヴァージニアの植民地とプリマスのビルグリム・ファーザーズたち	
		1-7	ピューリタニズムと科学の並立	
		1-8	ベンジャミン・フランクリン	
			自己点検	
第2章	独立戦争前後—アメリカ文学の曙光	導入		
		2-1	フランクリンの影響・John Woolmanの日記等—独立戦争前後	○学習期間 1章～3章 10月8日～10月22日までに学習及び理解度チェック1を受けてください。
		2-2	植民地時代から独立後にかけての詩	
		2-3	トマス・ヘインとアメリカ独立	○理解度チェック1 解答期限は10月22日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。
		2-4	最初期の小説	
		2-5	超越主義—エマソンとソロー	
		2-6	ヨーロッパの影の下で—最初期の小説家たち	
			自己点検	
			導入	
		3-1	『アンクル・トムの小屋』とアメリカ文学のロマン主義	
第3章	アメリカ・ルネサンス	3-2	ホイットマンとエミリ・ディキンソン	
		3-3	ホイットマン	
		3-4	エミリ・ディキンソン	
		3-5	ホーソーンとメルヴィル	
		3-6	ハーマン・メルヴィルと『モウビー・ディック』	
			自己点検	
			理解度チェック1	
			導入	
		4-1	マーク・トウェイン	
		4-2	ヘンリー・ジェイムズの世界	
第4章	放浪の精神・国際感覚		自己点検	
			導入	
		5-1	物質主義的文化の批判	○学習期間 4章～6章 10月23日～11月5日までに学習及び理解度チェック2を受けてください。
		5-2	ウイリアム・ディーン・ハウエルズ	
		5-3	ヘンリー・アダムズの意義	
		5-4	地方の作家たちと作品	
			自己点検	○理解度チェック2 解答期限は11月5日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。
			導入	
		6-1	東部のイーディス・ウォートン	
		6-2	西部のウイラ・キャザー	
第5章	リアリズムの台頭・地方の作家たち	6-3	エレン・グラスゴー	
		6-4	辺境の消滅と自然主義の文学	
			自己点検	
			理解度チェック2	
			導入	
		7-1	スティーヴン・クレイン	
		7-2	フランク・ノリス	
		7-3	ジャック・ロンドン	
		7-4	セオドア・ドライサー	
		7-5	アブト・シンクレアとマックレイカータ	
第6章	社会問題と文学—地方の文学から自然主義の文学へ	7-6	二人の健全な短編作家—アンブロウズ・ビアスとO.ヘンリー	
			自己点検	
			理解度チェック2	
			導入	
		8-1	シカゴ・ルネサンスとその経済的背景	○学習期間 7章～9章 11月6日～11月19日までに学習及び理解度チェック3を受けてください。
		8-2	シカゴの経済的繁栄と詩人たち	
		8-3	ハリエット・モンローとシカゴ・ルネサンス	
		8-4	パウンドとフロストほか	
		8-5	スティーヴンズとウイリアムズ	
			自己点検	○理解度チェック3 解答期限は11月19日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。
第7章	自然主義的小説とアメリカ的誠実		導入	
		9-1	シカゴのシャーウッド・アンダスンとシンクレア・ルイス	
		9-2	ハーレム・ルネサンス、サザン・ルネサンスなど	
		9-3	サザン・ルネサンス	
		9-4	ウイリアム・フォーカー	
			自己点検	
			理解度チェック3	
			導入	
		10-1	南部の作家たち—トマス・ウルフとアースキン・コールドウェル	
第10章	南部・中西部・西部の作家たち	10-2	中西部のファレルとオルグレン	
		10-3	西部の作家たち—スタンベックとサロイアン	
		10-4	ニューヨークの二人—ヘンリー・ミラーとナサニエル・ウェスト	
		10-5	失われた世代	
			自己点検	
			導入	
		11-1	ドス・パソス	○学習期間 10章～12章 11月20日～12月3日までに学習及び理解度チェック4を受けてください。
		11-2	ヘミングウェイ	
		11-3	演劇の伝統	
		11-4	ユージン・オニール	
第11章	「失われた世代」(つづき): 演劇の諸相	11-5	1920・30年代以降のその他の劇作家たち	○理解度チェック4 解答期限は12月3日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。
		11-6	テネシー・ウイリアムズとアーサー・ミラー	
			自己点検	
			導入	
		12-1	政治経済的繁栄と文化の萎縮	
		12-2	ノーマン・マイラーその他の戦争文学	
		12-3	ビートニックスの文化と文学	
		12-4	ユダヤ系の作家たちとその伝統	
		12-5	アメリカ文化の多様性	
		12-6	結論	
第12章	第2次大戦後の多様化		自己点検	
			理解度チェック4	
			試験	○「試験」 最終試験は12月4日～12月10日までが、出題及び解答期間となっております。これを過ぎると提出できなくなります。
			受講後アンケート	12月4日～12月16日がアンケート回答期間になります。
			復習期間	試験終了後の12月11日～12月16日は全章の復習期間にしてください。

英語史MB メディア授業計画

科目名	英語史	単位
担当教員名	真野一雄	2

※理解度チェック及び試験の解答期限・解答回数は講座により異なりますので、各講座とも「授業計画」の「受講期間」欄にて必ず確認してください。

章番号	章名	節番号	節名	受講期間
	表紙			○本講座は2つのパート、12章で構成されています。 また、それぞれのパートには学習期間が設定されています。 ○各章の視聴(復習)はメディア授業開講期間内であれば何度でも可能ですが、 理解度チェック及び試験は解答期限を過ぎると解答ができなくなりますので十分注意してください。
第1章	インド・ヨーロッパ祖語 母音交替	1-1 1-2 1-3 1-4 1-5 自己点検	導入 音の変化 母音交替 母音のヴァリエーション 現代への影響 子音	
第2章	ゲルマン祖語 グリムの法則	2-1 2-2 2-3 2-4 2-5 2-6 2-7 自己点検	導入 名称 グリムの法則 変化(その1) 変化(その2) 変化(その3) 覚え方 ヴェルネルの法則	
第3章	古英語 母音変異	3-1 3-2 3-3 3-4 3-5 3-6 3-7 3-8 自己点検	導入 名称 ウムラウトとは? 音の影響 ウムラウト複数 他の例 覚え方 他の音変化 中英語の音変化	○学習期間 第1章～第6章 10月8日～11月9日までに学習及び理解度チェック1を受けてください。
第4章	近代英語 大母音推移	4-1 4-2 4-3 4-4 4-5 4-6 4-7 4-8 自己点検	導入 大母音推移の特徴 各音の変化 大母音推移を受けない語 覚え方 母音字の原則的読み方 母音字の読み方の規則 発音と綴り字の不一致の原因 その他の音変化	○理解度チェック1 解答期限は11月9日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。
第5章	名詞の性・数・格／不規則複数形	5-1 5-2 5-3 5-4 5-5 5-6 5-7 自己点検	導入 屈折 名詞の性・数・格 所有格と複数形 不規則複数形－無変化 -en 語尾 ウムラウト複数 借用語本来の複数形	
第6章	代名詞／形容詞	6-1 6-2 6-3 6-4 6-5 6-6 6-7 6-8 自己点検	導入 指示代名詞、冠詞 人称代名詞－1人称 人称代名詞－2人称 人称代名詞－3人称 再帰代名詞 所有代名詞 疑問代名詞 形容詞	
第7章	強変化動詞／弱変化動詞(1)	7-1 7-2 7-3 7-4 自己点検	導入 動詞の活用語尾 強変化動詞 基本形 弱変化動詞 自己点検	
第8章	弱変化動詞(2)／特別動詞	8-1 8-2 8-3 8-4 8-5 8-6 8-7 8-8 8-9 8-10 自己点検	導入 弱変化動詞－例外(その1) 弱変化動詞－例外(その2) 弱変化動詞－例外(その3) 弱変化動詞－例外(その4) 弱変化動詞－例外(その5) 過去現在動詞 be do go will 自己点検	
第9章	二重否定／語順の確立／属性	9-1 9-2 9-3 9-4 9-5 自己点検	導入 二重否定 二重比較 語順の確立 属性の用法 群属性 自己点検	○学習期間 第7章～第12章 11月10日～12月7日までに学習及び理解度チェック2を受けてください。
第10章	It is me／関係代名詞	10-1 10-2 10-3 10-4 自己点検	導入 It is I の成立 It is me の成立 関係代名詞の歴史(その1) 関係代名詞の歴史(その2) 自己点検	○理解度チェック2 解答期限は12月7日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。
第11章	非人称動詞	11-1 11-2 11-3 11-4 自己点検	導入 非人称動詞とは? 非人称動詞の変遷 if you please 人称動詞化の理由 自己点検	
第12章	動詞形の多様性／接続法	12-1 12-2 12-3 12-4 12-5 12-6 12-7 自己点検	導入 未来の表し方(その1) 未来の表し方(その2) 助動詞 do の変遷(その1) 助動詞 do の変遷(その2) 助動詞 do の変遷(その3) 接続法の用法 接続法の形態 自己点検	
理解度チェック2				
受講後アンケート				11月10日～12月16日がアンケート回答期間になります。
復習期間				課題提出後の12月8日～12月16日の間は全章の復習期間にしてください。

科目名	英語音声学	単位
担当教員名	森 晴代	2

※理解度チェック及び試験の解答期限・解答回数は講座により異なりますので、各講座とも「授業計画」の「受講期間」欄にて必ず確認してください。

章番号	章名	節番号	節名	受講期間	
	表紙			○本講座は3つのパート、12章で構成されています。 また、それぞれのパートには学修期間が設定されています。 ○各章の視聴(復習)はメディア授業開講期間内であれば何度でも可能ですが、理解度チェック及び試験は解答期限を過ぎると解答ができなくなりますので十分注意してください。	
第1章	話すことばのプロソディ	導入			
		1-1	分節音とプロソディ		
		1-2	話すことばのリズム:観察		
		1-3	リズムの定義		
		1-4	リズムの類型論		
		1-5	英語のリズムと日本語のリズム		
		1-6	内容語と機能語		
		1-7	機能語の発音・強形と弱形		
		1-8	強母音と弱母音		
		1-9	まとめ		
			自己点検		
第2章	語強勢(1)	導入			
		2-1	強勢アクセントとピッチアクセント		
		2-2	語強勢	○学修期間 1章～4章 10月8日～10月27日までに学修及び理解度チェック1を受けてください。	
		2-3	語強勢の予測性		
		2-4	動詞と名詞の強勢規則		
		2-5	日本の地名の強勢位置(再考)		
		2-6	まとめ	○理解度チェック1 解答期限は10月27日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。	
第3章	語強勢(2)	自己点検			
		導入			
		3-1	接尾辞と強勢		
		3-2	強勢移動接尾辞と強勢中直接尾辞		
		3-3	強勢の移動と分節音の変化		
		3-4	複合語の強勢		
		3-5	複合名詞と名詞句の強勢		
第4章	英語音声の観察と発音練習(1)	3-6	英語の複合名詞と日本語の外来語		
		3-7	まとめ		
			自己点検		
		導入			
第5章	プロソディと文の発音	4-1	アメリカ標準発音の母音		
		4-2	イギリス標準発音の母音		
		4-3	困難を感じやすい英語子音の区別		
		4-4	英語のリズム		
理解度チェック1					
第6章	イントネーション(1)	導入			
		5-1	音声コミュニケーションのモデル		
		5-2	「ことばの鎖」モデルとメッセージの伝達		
		5-3	メッセージの伝達と言語音声		
		5-4	話すことばのイントネーション		
		5-5	まとめ		
			自己点検		
第7章	イントネーション(2)	導入			
		6-1	英語イントネーションの3つの要素		
		6-2	音調句への分割(Tonality)		
		6-3	文の区切り方の問題		
		6-4	音調の選択(Tone)		
		6-5	イントネーションの表記	○学修期間 5章～8章 10月28日～11月10日までに学修及び理解度チェック2を受けてください。	
		6-6	文の種類と基本音調		
		6-7	文の種類と基本音調(まとめ)		
			自己点検	○理解度チェック2 解答期限は11月10日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。	
第8章	英語音声の観察と発音練習(2)	導入			
		7-1	音調核音節の位置づけ: Tonicity		
		7-2	通常の強勢		
		7-3	新情報と旧情報		
		7-4	情報の焦点と情報の新旧		
		7-5	文末焦点の原理と自動詞構文		
		7-6	旧情報と音調核		
		7-7	まとめ		
			自己点検		
第9章	話すことばにおける発音の変化(1)	導入			
		8-1	アメリカ標準発音とイギリス標準発音の母音		
		8-2	困難を感じやすい英語子音		
		8-3	英語のイントネーション		
		8-4	音声表記(アメリカ標準発音)		
			自己点検		
		導入			
第10章	話すことばにおける発音の変化(2)	9-1	文の発音		
		9-2	分節音の特徴と単語間の区切り		
		9-3	分節音の特徴と単語間のつながり		
		9-4	強勢の移動		
		9-5	まとめ		
			自己点検		
		導入			
第11章	英語音声の観察と発音練習(3)	10-1	話すことばの中の単語の発音		
		10-2	音の脱落		
		10-3	音の同化		
		10-4	音の融合		
		10-5	連結のRと割り込みのR		
		10-6	まとめ	○学修期間 第9～12章の学修期間は11月11日～12月8日までとなっております。	
			自己点検		
第12章	日英語のプロソディと音声転移	導入			
		11-1	英語の子音連続		
		11-2	英語のリズム		
		11-3	文の区切り		
		11-4	音声表記(イギリス標準発音)		
		導入			
		12-1	音声転移		
		12-2	リズムとアクセント		
		12-3	イントネーション		
		12-4	分節音の発音とプロソディ		
		12-5	まとめ		
			自己点検		
試験					
○試験 最終試験は12月9日～12月15日までが、出題および解答期間となっています。これを過ぎると提出できなくなります。					
受講後アンケート					
12月9日～12月16日がアンケート回答期間になります。					
復習期間					
試験終了後の12月16日の間は全章の復習期間にしてください。					

英語学概説MB メディア授業計画

科目名	英語学概説	単位
担当教員名	山岡 洋	2

章番号	章名	節番号	節名	受講期間
	表紙			○本講座は3つのパート、15章で構成されています。 また、それぞれのパートには学修期間が設定されています。 ○各章の視聴(復習)はメディア授業開講期間内であれば何度でも可能ですが、理解度チェック及び試験は解答期限を過ぎると解答ができなくなりますので十分注意してください。
第1章	英語学とは－言語学の中の英語学－	1	Introduction	
		2	「ことば」の仕組み	
		3	「ことば」のさまざまな側面	
		4	言語学・英語学の下位分野	
			自己点検	
第2章	形態論(1):形態論の仕事と語の特徴	1	形態論とは	
		2	語の特徴	
		3	生産性	
		4	統語的な機能の排除	
			自己点検	
第3章	形態論(2):形態素分析と規則性の低い語形成	1	形態素分析	○学修期間 1章～4章 10月8日～10月27日までに学修及び理解度チェック1を受けてください。
		2	語形成過程の種類	
		3-1	偶発的な語形成①	
		3-2	偶発的な語形成②	
		3-3	偶発的な語形成③	
		4-1	規則性の低い語形成①	○理解度チェック1 解答期限は10月27日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。
		4-2	規則性の低い語形成②	
		4-3	規則性の低い語形成③	
		4-4	規則性の低い語形成④	
			自己点検	
第4章	生成文法(1):生成文法理論の概略	1-1	複合①	
		1-2	複合②	
		1-3	複合③	
		2	派生	
		3	転換	
			自己点検	
			理解度チェック1	
第5章	生成文法(1):生成文法理論の概略	1-1	生成文法の目標①	
		1-2	生成文法の目標②	
		2	言語習得	
		3	生成文法の考え方	
			自己点検	
第6章	生成文法(2):GB理論以前の生成文法	1-1	句構造規則①	○学修期間 5章～8章 10月28日～11月10日までに学修及び理解度チェック2を受けてください。
		1-2	句構造規則②	
		2	変形規則	
		3	変形規則の適用条件	
			自己点検	
第7章	生成文法(3):GB理論の特徴・X'理論・θ理論・格理論	1-1	GB理論の特徴①	○理解度チェック2 解答期限は11月10日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。
		1-2	GB理論の特徴②	
		2-1	X'理論①	
		2-2	X'理論②	
		2-3	X'理論③	
		2-4	X'理論④	
		3	θ理論	
		4	各理論	
第8章	生成文法(4):統率理論・境界理論・束縛理論・コントロール理論		自己点検	
		1	統率理論	
		2	境界理論	
		3	束縛理論	
		4-1	コントロール理論①	
		4-2	コントロール理論②	
			自己点検	
第9章	機能統語論(1):省略	1	形式主義と機能主義	○学修期間 9章～11章 11月11日から11月24日までに学修及び理解度チェック3を受けてください。
		2	省略とは	
		3-1	談話における省略①	
		3-2	談話における省略②	
		4	並列文における省略	
			自己点検	
第10章	機能統語論(2):受動態	1-1	受動態とは 英語の受動態①	○理解度チェック3 解答期限は11月24日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。
		1-2	英語の受動態②	
		2-1	日本語の受動態①	
		2-2	日本語の受動態②	
		3	日英語の受動態の相違	
			自己点検	
		1	視点とは	

英語学概説MB メディア授業計画

科目名	英語学概説	単位
担当教員名	山岡 洋	2

章番号	章名	節番号	節名	受講期間	
第11章	機能統語論(3):視点	2-1	視点ハイアラーキー①		
		2-2	視点ハイアラーキー②		
		3	視点表現まとめ		
			自己点検		
理解度チェック3					
第12章	伝統文法(1):動詞の時制	1-1	現在時制①		
		1-2	現在時制②		
		2	過去時制-		
		3-1	未来の表し方-Will と Shall--		
		3-2	未来の表し方-Be going--		
		3-3	未来の表し方-その他の未来表現-		
自己点検					
第13章	伝統文法(2):受動態	1-1	受動態の基本形式①		
		1-2	受動態の基本形式②		
		2-1	受動態の要点①		
		2-2	受動態の要点②		
		2-3	受動態の要点③		
		3	受動態に関連のある構文		
自己点検					
第14章	伝統文法(3):法助動詞	1-1	Can①		
		1-2	Can②		
		2-1	May①		
		2-2	May②		
		3	Must		
			自己点検		
第15章	英語史	1	英語史以前		
		2	古英語		
		3-1	中英語①		
		3-2	中英語②		
		4-1	近代英語①		
		4-2	近代英語②		
自己点検					
理解度チェック4					
試験					
受講後アンケート				12月9日～12月16日がアンケート回答期間になります。	
復習期間				課題提出後の12月16日は全章の復習期間にしてください。	

科目名	東洋史概説／東洋史概論	単位
担当教員名	須江 隆・綿貫 哲郎	2

※理解度チェック及び試験の解答期限・解答回数は講座により異なりますので、各講座とも「授業計画」の「受講期間」欄にて必ず確認してください。

章番号	章名	節番号	節名	受講期間	
	表紙 東洋史を学ぶ意義			○本講座は2つのパート、12章で構成されています。 また、それぞれのパートには学習期間が設定されております。 ○各章の視聴(復習)はメディア授業開講期間内であれば何度でも可能ですが、 理解度チェック及び試験は解答期限を過ぎると解答ができなくなりますので十分注意してください。	
第1章	中華帝国史概説 I	導入			
		1-1	古代		
		1-2	中世		
		1-3	唐宋変革		
第2章	中華帝国史概説 II	導入			
		2-1	近世		
		2-2	近代		
		2-3	最近の中国		
第3章	皇帝制度	導入			
		3-1	秦の始皇帝と皇帝制度の確立		
		3-2	天人相関説と皇帝の宿命		
		3-3	君主独裁体制下の皇帝	○学習期間 1章～7章 10月8日～11月9日までに学習及び理解度チェック1を受けてください。	
第4章	科挙制度	導入			
		4-1	科挙前史と科挙制の沿革	○理解度チェック1 解答期限は11月9日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。	
		4-2	科挙の仕組みと社会問題		
		4-3	科挙制度の廃止が意味するもの		
第5章	官僚と知識人	導入			
		5-1	伝統中国の官僚制		
		5-2	昇進の仕組みと日常生活		
		5-3	ある知識人の生涯		
第6章	地方統治と都城制	導入			
		6-1	地方統治の仕組み		
		6-2	都城制と都市構造		
		6-3	地方都市「鎮」の出現		
第7章	民衆と信仰	導入			
		7-1	民間信仰の神々		
		7-2	碑文史料に見える神々の靈験		
		7-3	民衆の精神世界		
理解度チェック1					
第8章	周辺民族 I	導入			
		8-1	中華思想と「蛮夷戎狄」		
		8-2	万里の長城と北方民族		
		8-3	「征服王朝」と「漢化」		
第9章	周辺民族 II	導入			
		9-1	遼・金と南北システム	○学習期間 8章～12章 11月10日～12月7日までに学習及び理解度チェック2を受けてください。	
		9-2	モンゴル大帝国と中国支配		
		導入			
第10章	周辺民族 III	10-1	明の永楽帝と大帝国の夢	○理解度チェック2 解答期限は12月7日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。	
		10-2	北虜と南倭		
		導入			
		11-1	多民族国家・清朝の成立		
第11章	周辺民族 IV	11-2	清朝入関と支配体制のゆらぎ		
		導入			
		12-1	最大領域の形成と清朝皇帝の性格		
		12-2	現代中国の少数民族問題		
理解度チェック2					
試験					
受講後アンケート					
復習期間					

経済原論/経済学原論 MB メディア授業計画

科目名	経済原論/経済学原論 MB	単位
担当教員名	藤本 訓利・陸 亦群	2

※理解度チェック及び試験の解答期限・解答回数は講座により異なりますので、各講座とも「授業計画」の「受講期間」欄にて必ず確認してください。

章番号	章名	節番号	節名	受講期間	
	表紙			○本講座は2つのパート、15章で構成されています。 また、それぞれのパートには学習期間が設定されています。 ○各章の視聴(復習)はメディア授業開講期間内であれば、何度でも可能ですが、理解度チェック及び試験は解答期限を過ぎると解答ができないことがありますので注意してください。	
第1章	マクロ経済学とは	1節-1	経済学の歴史とマクロ経済学の誕生①		
		1節-2	経済学の歴史とマクロ経済学の誕生②		
		1節-3	経済学の歴史とマクロ経済学の誕生③		
		2節	マクロ経済学の分析ツール		
第2章	国民経済計算	3節	マクロ経済学をなぜ学ぶのか		
		1節-1	付加価値と国内総生産(GDP)①		
		1節-2	付加価値と国内総生産(GDP)②		
		2節-1	国民所得の諸概念①		
		2節-2	国民所得の諸概念②		
		3節-1	マクロ経済循環①		
		3節-2	マクロ経済循環②		
		3節-3	マクロ経済循環③		
		4節	帰属計算		
第3章	三面等価の原則と物価水準	1節-1	三面等価の原則①		
		1節-2	三面等価の原則②		
		2節	三面等価は統計上の約束事		
		3節-1	ISバランスと財政收支・貿易サービス收支		
		3節-2	ISバランスと財政收支・貿易サービス收支		
		4節-1	物価水準と経済成長率①		
		4節-2	物価水準と経済成長率②		
		4節-3	物価水準と経済成長率③		
		4節-4	物価水準と経済成長率④		
第4章	消費と貯蓄	1節	ケインズ型消費関数		
		2節-1	消費関数論争①		
		2節-2	消費関数論争②		
		2節-3	消費関数論争③		
		2節-4	消費関数論争④		
第5章	国民所得の決定と乗数	3節	貯蓄		
		1節	短期のケインジアン・モデル		
		2節-1	財市場における不均衡と調整①		
		2節-2	財市場における不均衡と調整②		
		3節-1	乗数効果①		
第6章	投資量の決定	3節-2	乗数効果②		
		1節	資本ストックと投資		
		2節-1	ケインズ型投資関数①		
		2節-2	ケインズ型投資関数②		
		2節-3	ケインズ型投資関数③		
第7章	貨幣の機能と貨幣の供給	3節	加速度原理		
		4節	ストック調整モデル		
		5節	投資の調整費用モデル		
		1節-1	貨幣の機能と定義①		
		1節-2	貨幣の機能と定義②		
第8章	貨幣需要と利子率の決定	2節	マネーサプライ		
		3節-1	マネーサプライの変動①		
		3節-2	マネーサプライの変動②		
		1節	資産市場におけるワルラスの法則		
		2節-1	貨幣の保有動機と貨幣需要関数①		
第9章	IS-LMモデル	2節-2	貨幣の保有動機と貨幣需要関数②		
		2節-3	貨幣の保有動機と貨幣需要関数③		
		3節	貨幣市場の均衡と利子率の決定		
		1節-1	導入		
		1節-2	財市場の均衡とIS曲線①		
第10章	IS-LM分析と財政金融政策	1節-3	財市場の均衡とIS曲線②		
		2節	貨幣市場の均衡とLM曲線		
		3節	財市場と貨幣市場の同時均衡		
		4節-1	市場の調整メカニズムと調整速度①		
		4節-2	市場の調整メカニズムと調整速度②		
第11章	国際マクロ経済学(1)	4節-3	市場の調整メカニズムと調整速度③		
		1節	過少雇用均衡と経済政策		
		2節-1	財政政策の効果①		
		2節-2	財政政策の効果②		
		3節-1	金融政策の効果①		
第12章	国際マクロ経済学(2)	3節-2	金融政策の効果②		
		4節	ボリシー・ミックス		
		5節	価格の伸縮性と完全雇用		
		6節	まとめ		
		理解度チェック1			
第13章	短期モデルと長期モデルの比較	1節-1	国際収支の構造と外国為替制度①		
		1節-2	国際収支の構造と外国為替制度②		
		1節-3	国際収支の構造と外国為替制度③		
		2節-1	マンデルフレミング・モデルの導出①		
		2節-2	マンデルフレミング・モデルの導出②		
第14章	物価水準の決定	1節-1	固定相場制下のMFモデルと経済政策①		
		1節-2	固定相場制下のMFモデルと経済政策②		
		1節-3	固定相場制下のMFモデルと経済政策③		
		2節	変動相場制下のMFモデルと経済政策		
		1節	短期モデルの枠組み		
第15章	インフレとデフレ	2節	長期モデルの枠組み		
		3節-1	海外部門を組み入れた場合の長期モデル①		
		3節-2	海外部門を組み入れた場合の長期モデル②		
		4節	「名目」利子率と「実質」利子率		
		1節	ケインジアンと古典派の総供給曲線		
第16章	試験	2節	現実的な短期の総供給曲線		
		3節-1	価格の調整速度と総需要管理政策の効果①		
		3節-2	価格の調整速度と総需要管理政策の効果②		
		1節	動学化された総供給曲線		
		2節	フィリップス曲線		
第17章	受講後アンケート	3節	動学化された総需要曲線とインフレ率の決定		
		4節	合理的期待形成と自然失業率仮説		
		5節	インフレとデフレの社会的費用		
		理解度チェック2			
		試験			
受講後アンケート				12月9日～12月16日がアンケート回答期間になります。	
復習期間				試験終了後の12月15日～12月16日の間は全章の復習期間にしてください。	

科目名	経済学概論	単位
担当教員名	谷川 孝美	2

※理解度チェック及び試験の解答期限・解答回数は講座により異なりますので、各講座とも「授業計画」の「受講期間」欄にて必ず確認してください。

章番号	章名	項目番号	項目名	受講期間
	表紙			○本講座は4つのパート、12章で構成されています。 また、それぞれのパートには学習期間が設定されています。 ○各章の視聴(復習)はメディア授業開講期間内であれば何度でも可能ですが、理解度チェック及び試験は解答期限を過ぎると解答ができなくなりますので十分注意してください。
第1章	マクロ経済学とはどのような学問か	導入		
		1-1	マクロ経済学をなぜ学ぶのか	
		1-2	マクロ経済のとらえ方	
		1-3	マクロ経済学における論争	
第2章	国民経済計算	導入		○学習期間 1章～3章 10月8日～10月25日までに学習及び理解度チェック1を受けてください。
		2-1	経済主体と経済循環	
		2-2	国内総生産(GDP)と付加価値	
		2-3	国内総生産(GDP)、国民総生産(GNP)および国民所得(NI)	
		2-4	経済成長と物価	○「理解度チェック1」 解答期限は10月25日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。
		2-5	国民所得の三面等価の原則	
第3章	国民所得の決定理論:総需要アプローチ	導入		
		3-1	総供給と均衡産出量	
		3-2	消費関数	
		3-3	投資(I)	
		3-4	均衡国民所得水準の決定	
理解度チェック1				
第4章	乗数と政府部門	導入		
		4-1	乗数と政府部門	
		4-2	政府部門の導入	
		4-3	均衡国民所得の決定	○学習期間 4章～6章 10月26日～11月8日までに学習及び理解度チェック2を受けてください。
		4-4	財政余剰と国民経済	
第5章	貨幣とマネーサプライの変化	導入		○「理解度チェック2」 解答期限は11月8日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。
		5-1	貨幣の機能と本質	
		5-2	マネーサプライ	
		5-3	マネーサプライの変動:通貨乗数	
第6章	貨幣需要と利子率	導入		
		6-1	貨幣の保有動機と貨幣需要関数	
		6-2	マネーサプライ(再説)	
		6-3	貨幣市場の均衡と利子率の決定	
理解度チェック2				
第7章	IS-LM分析	導入		
		7-1	財市場の均衡とIS曲線	
		7-2	貨幣市場の均衡とLM曲線	
		7-3	財市場と貨幣市場の均衡	○学習期間 7章～9章 11月9日～11月22日までに学習及び理解度チェック3を受けてください。
第8章	IS-LM分析と財政・金融政策	導入		○「理解度チェック3」 解答期限は11月22日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。
		8-1	財政政策とクラウディング・アウト効果	
		8-2	金融政策の効果	
		8-3	ポリシー・ミックス	
第9章	開放経済モデル	導入		
		9-1	国際収支と為替相場	
		9-2	開放経済モデル	
		9-3	マンデル＝フレミング・モデル	
理解度チェック3				
第10章	物価水準と産出量	導入		
		10-1	総需要	
		10-2	総供給曲線	
		10-3	物価水準の決定	
		10-4	財政・金融政策の効果	○学習期間 10章～12章 11月23日～12月6日までに学習及び理解度チェック4を受けてください。
第11章	インフレーションと失業	導入		○「理解度チェック4」 解答期限は12月6日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。
		11-1	インフレーション	
		11-2	インフレ供給曲線とインフレ需要曲線	
		11-3	フィリップス曲線と総需要管理政策	
第12章	経済成長の理論	導入		
		12-1	経済成長に関するいくつかのデータ	
		12-2	経済成長理論	
		12-3	成長の源泉に関する実証研究	
		12-4	経済成長と少子高齢化・人口減少	
理解度チェック4				
試験				
○「試験」 最終試験は12月7日～12月13日まで が、出題及び解答期間となっています。これを過ぎると提出できなくなります。				
受講後アンケート				
12月7日～12月16日がアンケート回答期間になります。				
復習期間				
試験終了後の12月14日～12月16日の間は全章の復習期間にしてください。				

日本経済論 MB メディア授業計画

科目名	日本経済論	単位	※理解度チェック及び試験の解答期限・解答回数は講座により異なりますので、各講座とも「授業計画」の「受講期間」欄にて必ず確認してください。	
担当教員名	佐久間 隆	2		
章番号	章名	節番号	節名	
	表紙			
第1章	日本の金融システムの変遷	1	授業と教科書について(再確認)	
		2-1	日本の金融システムの変遷①	
		2-2	日本の金融システムの変遷②	
		3-1	バブル崩壊後不良債権問題と銀行危機①	
		3-2	バブル崩壊後不良債権問題と銀行危機②	
		4	銀行危機への対応と金融規制の改革	
第2章	グローバル金融危機と日本の金融システム	5	予習範囲、自習問題	
		1	米国のサブプライムローン危機	
		2	グローバル金融危機	
		3	グローバル金融危機の影響と危機への対応	
		4	日本の金融システムの現状と課題	
		5	予習範囲、自習問題	
第3章	デフレと金融政策の変遷	1-1	デフレ① デフレの経済的コストと流動性の罠	
		1-2	デフレ② デフレの要因	
		2-1	金融政策の変遷① デフレとゼロ金利・量的緩和政策	
		2-2	金融政策の変遷② アベノミクスと量的緩和政策	
		3	予習範囲、自習問題	
		1-1	非伝統的金融緩和の目的と波及効果 金融システムの安定	
第4章	非伝統的金融政策	1-2	非伝統的金融緩和の目的と波及効果 流動性の罠への対応	
		2	非伝統的金融政策のリスク	
		3	予習範囲、自習問題	
		1	日本財政の現状	
		2	政府の通時的予算制約	
		3	維持可能性の条件	
第5章	日本財政の現状と維持可能性	4	予習範囲、自習課題	
		1-1	債務危機・財政破綻①	
		1-2	債務危機・財政破綻②	
		2-1	日本の政府債務の維持可能性①	
		2-2	日本の政府債務の維持可能性②	
		3-1	財政再建の必要性①	
第6章	債務危機の回避	3-2	財政再建の必要性②	
		4	予習範囲、自習問題	
理解度チェック1				
第7章	地域間格差と地域新興政策	1	地域経済と地域間格差	
		2-1	地域振興政策と社会資本の役割①	
		2-2	地域振興政策と社会資本の役割②	
		3	予習範囲、自習問題	
		1-1	地域振興政策および社会資本概念の変貌	
		1-2	地域振興政策および社会資本概念の変貌	
第8章	地域振興政策の変貌と自然災害	2-1	自然災害と被害地域の復興①	
		2-2	自然災害と被害地域の復興②	
		3	予習範囲、自習問題	
		1-1	人口減少社会の到来①	
		1-2	人口減少社会の到来②	
		2	社会保障のしくみ	
第9章	人口減少と社会保障のしくみ	3	予習範囲、自習問題	
		1-1	年金保険制度のしくみ	
		1-2	年金保険制度の改革	
		2-1	医療保険制度のしくみ	
		2-2	医療保険制度の改革	
		3	介護保険の導入と課題	
第10章	年金・医療・介護の制度と改革	4	将来に向けた制度改革の方向性	
		5	予習範囲、自習問題	
理解度チェック2				
第11章	日本の対外経済関係の変遷	1	日本の経常収支黒字	
		2	日本の貿易構造の変化	
		3	貿易摩擦と日本企業の海外進出	
		4	日本の対内直接投資	
		5	予習範囲、自習課題	
		1	多角的交渉から地域間貿易協定への流れ	
第12章	地域間貿易協定とアジア経済拡大の影響	2-1	TPP交渉と農業・医療問題①	
		2-2	TPP交渉と農業・医療問題②	
		3	アジア経済の拡大	
		4	アジア諸国合意と日本の貿易	
		5	予習範囲、自習問題	
		1	アベノミクスの概要	
第13章	アベノミクスの成果と限界	2-1	アベノミクスの評価①	
		2-2	アベノミクスの評価②	
		3	アベノミクスversion1の限界	
		4	予習範囲、自習問題	
		1	アベノミクスにおける成長戦略	
		2-1	成長戦略の中心とすべき労働市場改革①	
第14章	これからの日本経済	2-2	成長戦略の中心とすべき労働市場改革②	
		3-1	イノベーションは起きるか①	
		3-2	イノベーションは起きるか②	
		4	予習範囲、自習問題	
理解度チェック3				
第15章	全体のまとめ	1-1	1~4章の要点とキーワード理解の確認	
		1-2	5~6章の要点とキーワード理解の確認	
		1-3	7~10章の要点とキーワード理解の確認	
		1-4	11~14章の要点とキーワード理解の確認	
		2	最終レポート試験についての説明と注意事項	
試験				
受講後アンケート				
復習期間				

科目名	国際経済論	単位
担当教員名	前野 高章	2

※理解度チェック及び試験の解答期限・解答回数は講座により異なりますので、各講座とも「授業計画」の「受講期間」欄にて必ず確認してください。

章番号	章名	節番号	節名	受講期間	
	表紙			○本講座は3つのパート、12章で構成されています。 また、それぞれのパートには学修期間が設定されています。 ○各章の視聴(復習)はメディア授業開講期間内であれば何度でも可能ですが、 理解度チェック及び試験は解答期限を過ぎると解答ができなくなります ので十分注意してください。	
第1章	国際取引と国際収支統計		導入		
		1-1	国際収支の定義		
		1-2	国際収支の特徴		
		1-3	国際収支表の基本構造		
第2章	外国為替市場と国際金融	1-4	国際収支の黒字と赤字		
		2-1	外国為替市場と為替レート(名目と実質)	○学修期間 1章～5章 10月8日～10月26日までに学修及び理解度チェック1を受けてください。	
		2-2	為替取引の種類	○「理解度チェック1」 解答期限は10月26日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。	
第3章	経常収支と貿易弾力性	2-3	外国為替市場の役割		
			導入		
		3-1	名目為替レートと実質為替レート		
		3-2	弾力性アプローチ		
第4章	国際収支と国内経済のマクロ的関連	3-3	マーシャル・ラーナーの安定条件		
		3-4	貿易収支と為替レート(Jカーブ効果)		
			導入		
第5章	円高日本経済と経常収支	4-1	対外収支と貯蓄・投資バランス		
		4-2	経常収支と外国貿易乗数		
		4-3	財政赤字と経常収支		
第6章	マクロ経済分析の基礎	5-1	日本国際収支の推移		
		5-2	円高不況と経常黒字		
理解度チェック1					
第7章	IS-LM-BP分析		導入		
		6-1	財市場の均衡とIS曲線	○学修期間 6章～8章 10月27日～11月9日までに学修及び理解度チェック2を受けてください。	
		6-2	貨幣市場の均衡とLM曲線	○「理解度チェック2」 解答期限は11月9日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。	
		6-3	財市場と貨幣市場の均衡		
第8章	開放経済と経済政策	6-4	IS-LM分析と財政金融政策		
		7-1	S-LM曲線と財政・金融政策		
		7-2	BP曲線の導出		
第9章	外国為替相場の決定メカニズム	7-3	BP曲線の傾きと資本移動の自由度		
			導入		
		8-1	固定相場制下の財政・金融政策		
第10章	為替相場の変動の実態経済に与える影響	8-2	変動相場制下の財政・金融政策		
			導入		
		9-1	外国為替の需給均衡		
		9-2	資産市場と外国為替相場		
		9-3	国内貨幣供給と外国為替相場		
第11章	国際通貨制度	9-4	外国為替相場のオーバーシューティング		
		9-5	物価水準と外国為替相場		
第12章	外国為替制度の選択	10-1	外国為替相場の変動とその影響	○学修期間 9章～12章 11月10日～12月7日までに学修及び理解度チェック3を受けてください。	
		10-2	外国為替市場への介入	○「理解度チェック3」 解答期限は12月7日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。	
		10-3	為替レートを通じたマクロ経済政策の国際的波及		
第13章	受講後アンケート	11-1	国際通貨制度の概観(関連年表)		
		11-2	国際通貨制度の変遷		
第14章	復習期間	12-1	変動為替制度		
		12-2	カレンシー・ボード制度		
		12-3	ドル化政策		
		12-4	通貨同盟と最適通貨圏		
		12-5	外国為替制度の選択問題		
理解度チェック2					
試験					
○「試験」 最終試験は12月8日～12月14日まで が、出題及び解答期間となっています。これを過ぎると提出できなくなります。					
受講後アンケート					
12月8日～12月16日がアンケート回答期間になります。					
復習期間					
試験終了後の12月15日～12月16日の間は全章の復習期間にしてください。					

科目名	情報概論	単位
担当教員名	久東 義典	2

※理解度チェック及び試験の解答期限・解答回数は講座により異なりますので、各講座とも「授業計画」の「受講期間」欄にて必ず確認してください。

章番号	節名	項目番号	項目名	受講期間
	表紙			○本講座は4つのパート、12章で構成されています。 また、それぞれのパートには学習期間が設定されています。 ○各章の視聴(復習)はメディア授業開講期間内であれば何度でも可能ですが、 理解度チェック及び試験は解答期限を過ぎると解答ができなくなりますので十分注意してください。
第1章	コンピュータの基礎	導入		
		1-1	デジタルとアナログ	
		1-2	コンピュータの歴史	
		1-3	身の回りのコンピュータ	
		1-4	コンピュータの機能	
		1-5	パソコンの基本操作	
第2章	文書作成	練習問題		
		導入		
		2-1	キー配列	
		2-2	起動	
		2-3	入力	
		2-4	編集	
		2-5	印刷	
第3章	ファイルとフォルダ	2-6	保存	
		2-7	練習問題	
		導入		
		3-1	ファイル	
		3-2	フォルダ	
		3-3	ディレクトリの操作	
第4章	プレゼンテーション資料作成	3-4	ドライブ	
		3-5	練習問題	
		理解度チェック1		
		導入		
		4-1	アウトライン作成	
		4-2	図形描画	
第5章	インターネット利用	4-3	練習問題	
		導入		
		5-1	ホームページ検索	
		5-2	Web2.0	
		5-3	クラウドコンピューティング	
		5-4	メール利用の注意	
第6章	IT機器の現状	5-5	法律	
		5-6	練習問題	
		導入		
		6-1	第3.5世代携帯電話	
		6-2	通信	
		6-3	放送	
第7章	データ通信技術	6-4	ハードウェア	
		6-5	ソフトウェア	
		6-6	練習問題	
		理解度チェック2		
		導入		
		7-1	有線接続	
第8章	ネットワーク	7-2	無線通信手段	
		7-3	練習問題	
		導入		
		8-1	コンピュータネットワーク	
		8-2	インターネット	
		8-3	ネットワークの形態	
第9章	インターネット技術	8-4	ネットワークの構成	
		8-5	ネットワークセキュリティ	
		8-6	練習問題	
		導入		
		9-1	プロトコル	
		9-2	IPアドレスとドメイン名	
第10章	ビジネスにおけるインターネット利用	9-3	インターネット情報の流れ	
		9-4	HTML	
		9-5	XML	
		9-6	練習問題	
		理解度チェック3		
		導入		
第11章	暗号化	10-1	電子商取引	
		10-2	電子商取引情報の標準化	
		10-3	電子マネー	
		10-4	顧客管理	
		10-5	個人情報保護	
		10-6	練習問題	
第12章	セキュリティ	導入		
		11-1	古典的暗号	
		11-2	最近の暗号	
		11-3	共通鍵と公開鍵	
		11-4	SSLによるweb認証	
		11-5	練習問題	
試験		導入		
		12-1	事故	
		12-2	ウイルス	
		12-3	サーバに対する攻撃	
		12-4	パスワード窃盗	
		12-5	利用上の注意点	
		12-6	システムの安全性評価	
受講後アンケート		12-7	練習問題	
				12月4日～12月16日がアンケート回答期間になります。
復習期間				試験終了後の12月11日～12月16日の間は全章の復習期間にしてください。

商学総論MB メディア授業計画

科目名	商学総論	開講単位数
担当講師名	金 雲鎧	2

※理解度チェック及び試験の提出期限・回数は講座により異なりますので、各講座とも「授業計画」の「受講期間」欄にて必ず確認してください。

章番号	章名	節番号	節名	受講期間	
	表紙			○本講座は2つのパート、15章で構成されています。 また、それぞれのパートには学修期間が設定されています。 ○各章の視聴(復習)はメディア授業開講期間内であれば何度でも可能ですが、理解度チェック及び試験は解答期限を過ぎると解答ができなくなりますので十分注意してください。	
第1章	マーケティングマネジメント論の再考 マーケティングミックス、IMC	1-1	オリエンテーションマーケティングミックスとは①		
		1-2	マーケティングミックスとは②		
		2	マーケティングミックスとは③ IMCとは		
第2章	アイデア創出、コンセプト開発	3	IMCの応用		
		1-1	アイデア創出①		
		1-2	アイデア創出②		
第3章	チャネル提案 + α	2	アイデア創出・コンセプト開発における注意点		
		1	チャネルタイプ①		
		2	チャネルタイプ②		
第4章	関係と行動① 小売業者による製販統合	3	チャネル提案		
		1	復習		
		2	製版統合		
第5章	流通 & IT① POSシステム 延期-投機理論	3	返品制度		
		1	復習POSシステム①		
		2-1	POSシステム②		
第6章	関係と行動② 小売業者によるPB開発	3	延期-投機理論		
		1	復習		
		2	PB商品とNB商品		
第7章	流通 & IT② CRM ケース:「食品スーパー「オギノ」」	3	PB開発の課題		
		1	復習		
		2	CRM		
第8章	小売業態論① 伝統的業態理論	3-1	食品スーパー「オギノ」の事例		
		3-2	食品スーパー「オギノ」の事例が示唆すること		
		1-1	基礎概念①		
第9章	小売業態論② 現代的業態理論	1-2	基礎概念②		
		2	業態発展の理論		
		1	復習業態発展の理論		
第10章	百貨店業態の歴史と革新	2	百貨店業態の歴史と革新		
		3	製造小売業(SPA)		
		1	マクロ観点で見る卸売流通①		
第11章	卸売流通①	1-2	マクロ観点で見る卸売流通②		
		2-1	ミクロ観点で見る卸売流通①		
		2-2	ミクロ観点で見る卸売流通②		
第12章	卸売流通②	1	卸売の革新		
		2	日本の流通特性		
		1	なぜ中小規模の小売店舗が多いのか 復習(MA)		
第13章	なぜ中小規模の小売店舗が減少したのか	2	なぜ中小規模の小売店舗が減少したのか		
		3	いかに解決するか		
		1-1	なぜ中小規模の小売店舗が減少したのか		
第14章	いかに解決するか	1-2	なぜ中小規模の小売店舗が減少したのか		
		2-1	なぜ中小規模の小売店舗が減少したのか		
		2-2	なぜ中小規模の小売店舗が減少したのか		
第15章	なぜ中小規模の小売店舗が減少したのか	1	なぜ中小規模の小売店舗が減少したのか		
		2-1	なぜ中小規模の小売店舗が減少したのか		
		2-2	なぜ中小規模の小売店舗が減少したのか		
第16章	なぜ中小規模の小売店舗が減少したのか	3	なぜ中小規模の小売店舗が減少したのか		
		1	なぜ中小規模の小売店舗が減少したのか		
		2	なぜ中小規模の小売店舗が減少したのか		
試験					
受講後アンケート					
復習期間					

経営学MB メディア授業計画

科目名	経営学	単位
担当教員名	高橋 淑郎	2

※理解度チェック及び試験の解答期限・解答回数は講座により異なりますので、各講座とも「授業計画」の「受講期間」欄にて必ず確認してください。

章番号	章名	節番号	節名	受講期間	
	表紙			○本講座は4つのパート、12章で構成されています。 また、それぞれのパートには学習期間が設定されています。 ○各章の視聴(復習)はメディア授業開講期間内であれば何度でも可能ですが、理解度チェック及び試験は解答期限を過ぎると解答ができなくなりますので十分注意してください。	
第1章	経営戦略と組織	導入			
		1-1	経営戦略の意味と体系		
		1-2	経営戦略と組織の関係		
			自己点検		
第2章	マーケティング	導入		○学習期間 1章～3章 10月8日～10月25日までに学習及び理解度チェック1を受けてください。	
		2-1	マーケティングの基本機能		
		2-2	製品戦略		
		2-3	価格戦略		
		2-4	販売促進戦略		
		2-5	流通チャネル戦略	○「理解度チェック1」 解答期限は10月25日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。	
第3章	生産システムの進化	自己点検			
		導入			
		3-1	生産管理の基本		
		3-2	テイラー・システムとフォード・システム		
		3-3	トヨタ・システムとボルボ・システム		
		3-4	セル生産方式とモジュール生産システム		
理解度チェック1					
第4章	人的資源管理	自己点検			
		導入			
		4-1	雇用管理		
		4-2	人事制度		
		4-3	労働時間管理	○学習期間 4章～6章 10月26日～11月8日までに学習及び理解度チェック2を受けてください。	
第5章	動機づけとリーダーシップの理論	自己点検			
		導入			
		5-1	動機づけの理論	○「理解度チェック2」 解答期限は11月8日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。	
		5-2	リーダーシップの理論		
第6章	財務管理	自己点検			
		導入			
		6-1	資本の調達と運用		
		6-2	財務分析		
理解度チェック2					
第7章	日本型経営システムの特徴と変容	自己点検			
		導入			
		7-1	日本型経営システムの成立と価値前提		
		7-2	日本型経営システムの特徴と変容	○学習期間 7章～9章 11月9日～11月22日までに学習及び理解度チェック3を受けてください。	
第8章	中小企業とベンチャー企業	自己点検			
		導入			
		8-1	中小企業の経営		
		8-2	ベンチャー企業の経営	○「理解度チェック3」 解答期限は11月22日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。	
第9章	経営の国際化とグローバリゼーション	自己点検			
		導入			
		9-1	企業経営の国際化		
		9-2	異文化経営		
理解度チェック3					
第10章	M&A	自己点検			
		導入			
		10-1	M&Aの意義と現状		
		10-2	M&Aの目的と課題		
第11章	社会的責任	自己点検			
		導入			
		11-1	企業の社会的責任	○学習期間 10章～12章 11月23日～12月6日までに学習及び理解度チェック4を受けてください。	
		11-2	コンプライアンス経営と企業倫理		
		11-3	環境経営		
第12章	企業評価	自己点検			
		導入			
		12-1	企業評価の考え方:「良い企業とは何か」	○「理解度チェック4」 解答期限は12月6日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。	
		12-2	「優良企業」を評価するモデル		
		12-3	「経営改革」のための評価モデル		
		12-4	従業員の観点からの企業評価		
理解度チェック4					
試験				○「試験」 最終試験は12月7日～12月13日まで が、出題及び解答期間となっています。これを過ぎると提出できなくなります。	
受講後アンケート				12月7日～12月16日がアンケート回答期間になります。	
復習期間				試験終了後の12月14日～12月16日の間は全章の復習期間にしてください。	

科目名	簿記論 I	開講単位数
担当教員名	村井 秀樹	2単位

※理解度チェック及び試験の解答期限・解答回数は講座により異なりますので、各講座とも「授業計画」の「受講期間」欄にて必ず確認してください。

章番号	章名	項目番号	項目	受講期間
	表紙			○本講座は4つのパート、13章で構成されています。 また、それぞれのパートには学習期間が設定されております。 ○各章の視聴(復習)はメディア授業開講期間内であれば何度でも可能ですが、理解度チェック及び試験は解答期限を過ぎると解答ができないになりますので十分注意してください。
第1章	簿記の概要		導入	
		1-1	必要性	
		1-2	生成・発展	
		1-3	種類	
第2章	当座預金取引・有価証券取引		導入	
		2-1	現金過不足	
		2-2	当座借越	
		2-3	小口現金	
		2-4	銀行勘定調整表	
		2-5	有価証券の分類と評価	○学習期間 1章～3章 10月8日～10月22日までに学習及び理解度チェック1を受けてください。
		2-6	有価証券の売買	○「理解度チェック1」 解答期限は10月22日までです。これを過ぎると解答ができないになります。
		2-7	有価証券の総平均法	
		2-8	債券の端数利息	
		2-9	有価証券の貸借・差入・預り・保管	
第3章	債権・債務取引と引当金の処理		2-10 自己点検	
			導入	
		3-1	債務保証	
		3-2	未決算勘定	
		3-3	貸倒引当金	
		3-4	商品(製品)保証引当金	
		3-5	修繕引当金	
		3-6	退職給付引当金	
第4章	手形取引		3-7 自己点検	
			理解度チェック1	
			導入	
		4-1	手形の裏書譲渡・割引	
		4-2	手形の偶発債務	
第5章	商品売買取引		4-3 手形の不渡り	
		4-4	手形の更改	
		4-5	荷為替手形	
			導入	
		5-1	商品の割引・割戻し	○学習期間 4章～6章 10月23日～11月5日までに学習及び理解度チェック2を受けてください。
第6章	特殊商品売買取引		5-2 商品の棚卸減耗・評価損	○「理解度チェック2」 解答期限は11月5日までです。これを過ぎると解答ができないになります。
		5-3	商品有高帳①	
		5-4	商品有高帳②(後入先出法)	
			導入	
		6-1	未着品売買	
		6-2	委託売買	
第7章	固定資産・繰延資産		6-3 受託売買	
		6-4	割賦販売	
		6-5	試用販売	
		6-6	予約販売	
			理解度チェック2	
			導入	
第8章	株式会社取引(1)		7-1 有形固定資産の購入	
		7-2	減価償却	
		7-3	有形固定資産の売却・除却	
		7-4	無形固定資産	
		7-5	投資その他の資産	
		7-6	繰延資産の計上と償却	○学習期間 7章～9章 11月6日～11月19日までに学習及び理解度チェック3を受けてください。
第9章	株式会社取引(2)		導入	
		8-1	株式会社の純資産(資本)(設立・増資・減資)	○「理解度チェック3」 解答期限は11月19日までです。これを過ぎると解答ができないになります。
		8-2	創立費・開業費・株式交付費	
		8-3	剰余金(法定準備金・任意積立金と繰越利益剰余金・株主資本等変動計算書)	
第10章	本支店会計(1)		8-4 会社の合併	
		9-1	社債(発行・利払・償還)	
		9-2	税金(法人税・事業税・消費税)	
第11章	本支店会計(2)		理解度チェック3	
			導入	
		10-1	本支店間取引	
		10-2	未達事項整理	
		11-1	内部利益の除去	○学習期間
第12章	伝票		11-2 本支店合併財務諸表	10章～13章 11月20日～12月3日までに学習及び理解度チェック4を受けてください。
			導入	○「理解度チェック4」 解答期限は12月3日までです。これを過ぎると解答ができないになります。
		12-1	伝票の意味と種類	
		12-2	仕訳伝票	
		12-3	三伝票制	
第13章	決算		12-4 伝票の集計	
			導入	
		13-1	決算整理・精算表	
		13-2	決算集合勘定	
第14章	試験		13-3 損益計算書と貸借対照表	○「試験」 最終試験は12月4日～12月10日までが、出題及び解答期間となっています。これを過ぎると提出できなくなります。
			理解度チェック4	
			試験	
第15章	受講後アンケート			12月4日～12月16日がアンケート回答期間になります。
第16章	復習期間			試験終了後の12月11日～12月16日の間は全章の復習期間にしてください。

科目名	貿易論	単位
担当教員名	飯野 文	2

※理解度チェック及び試験の解答期限・回答回数は
講座により異なりますので、各講座とも「授業計画」の
「受講期間」欄にて必ず確認してください。

章番号	章名	節番号	節名	受講期間		
	表紙			○本講座は4つのパートに分かれており、12章で構成されています。 また、それぞれのパートには学習期間が設定されています。 ○各章の視聴(復習)はメディア授業開講期間内であれば何度でも可能ですが、理解度チェック及び試験は解答期限を過ぎると解答ができなくなりますので十分注意してください。		
第1章	世界貿易の動向と国際貿易体制		導入 (はじめに)	○学習期間 1章～3章 10月8日～10月25日までに学習し、理解度チェック1を期間内で受けてください。		
		1-1	データで見る財・サービス貿易の動向			
		1-2	国際貿易体制の成立と展開			
			自己点検			
第2章	世界貿易機構(WTO)と貿易政策の諸手段① —世界貿易機構(WTO)の全体像—		導入 (はじめに)	○「理解度チェック1」 解答期限は10月25日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。		
		2-1	世界貿易機構(WTO)の全体			
		2-2	WTO協定の構造			
		2-3	WTOの組織			
			自己点検			
第3章	世界貿易機構(WTO)と貿易政策の諸手段② —関税と輸出入政策—	3-1	様々な関税			
		3-2	様々な輸出入政策			
			自己点検			
理解度チェック1						
第4章	GATT-WTOの基本原則①—無差別原則—		導入 (はじめに)			
		4-1	最恵国待遇原則			
		4-2	様々な輸出入政策			
			自己点検			
第5章	GATT-WTOの基本原則②	5-1	関税引き下げの原則と数量制限の一般的廃止	○学習期間 4章～6章 10月26日～11月8日までに学習し、理解度チェック2を期間内で受けてください。		
		5-2	関税引き下げの原則			
		5-3	数量制限の一般的廃止			
		5-4	一般的例外条項			
		5-5	貿易と環境			
			自己点検			
第6章	国内規制への対応		導入 (はじめに)			
		6-1	衛生植物検疫措置			
		6-2	貿易の技術的障害			
			自己点検			
理解度チェック2						
第7章	貿易自由化と貿易救済措置①		導入 (はじめに)			
		7-1	セーフガード措置			
		7-2	アンチ・ダンピング措置			
			自己点検			
第8章	貿易自由化と貿易救済措置②	8-1	補助金・相殺措置	○学習期間 7章～9章 11月9日～11月22日までに学習し、理解度チェック3を期間内で受けてください。		
		8-2	貿易救済措置と不公正貿易			
			自己点検			
			導入 (はじめに)			
第9章	WTO体制下における規律分野の拡大	9-1	農産品貿易の自由化	○「理解度チェック3」 解答期限は11月22日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。		
		9-2	サービス貿易			
			自己点検			
理解度チェック3						
第10章	地域経済統合① —地域経済統合の動向—		導入 (はじめに)			
		10-1	地域経済統合の世界的動向			
		10-2	地域経済統合の分類			
		10-3	地域経済統合を締結する背景			
		10-4	日本の地域経済統合			
第11章	地域経済統合② —地域経済統合とWTO協定との関係—(原産地規則)		自己点検	○学習期間 10章～12章 11月23日～12月6日までに学習し、理解度チェック4を期間内で受けてください。		
		11-1	WTO協定上の地域経済統合の位置づけ			
		11-2	例外条件			
		11-3	FTA/関税同盟の審査			
		11-4	原産地規則の意義			
		11-5	原産地規則の現状			
		11-6	「原産地規則に関する協定」の概要			
第12章	貿易・投資紛争処理制度		自己点検	○「理解度チェック4」 解答期限は12月6日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。		
			導入 (はじめに)			
		12-1	貿易紛争の処理制度			
		12-2	国際投資紛争の処理制度			
理解度チェック4						
試験						
最終試験は12月7日～12月13日まで						
が、出題及び解答期間となっています。これを過ぎると提出できなくなります。						
受講後アンケート						
12月7日～12月16日がアンケート回答期間になります。						

復習期間

試験終了後の12月14日～12月16日の間は全章の復習期間にしてください。

科目名	広告論	単位	※理解度チェック及び試験の解答期限・解答回数 は講座により異なりますので、各講座とも「授業計画」の「受講期間」欄にて必ず確認してください。		
担当教員名	雨宮史卓	2			
章番号	章名	節番号	節名	受講期間	
	表紙			○本講座は3つのパート、15章で構成されています。 また、それぞれのパートには学修期間が設定されています。 ○各章の視聴(復習)はメディア授業開講期間内であれば何度でも可能ですが、理解度チェック及び試験は解答期限を過ぎると解答ができなくなりますので十分注意してください。	
第1章	マーケティング・マネジメントにおける4Pと2P	1節	マーケティング・マネジメント 管理可能変数と管理不可能変数	○学修期間 1章～5章 10月8日～10月28日までに学修及び理解度チェック1を受けて下さい。 ○「理解度チェック1」 解答期限は10月28日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。	
		2節	マーケティング・マネジメントにおける直接的環境と間接的環境		
		3節	デ・マーケティング		
		自己点検			
第2章	マーケット・セグメンテーション	1節	市場について	○学修期間 1章～5章 10月8日～10月28日までに学修及び理解度チェック1を受けて下さい。 ○「理解度チェック1」 解答期限は10月28日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。	
		2節	市場細分化		
		3節	マーケットに対する無形財の考え方		
		自己点検			
第3章	イールド・マネジメント	1節	イールド・マネジメントの概要	○学修期間 1章～5章 10月8日～10月28日までに学修及び理解度チェック1を受けて下さい。 ○「理解度チェック1」 解答期限は10月28日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。	
		2節	イールド・マネジメントの適用条件と事例		
		3節	ニーズ、ウォンツ、ディマンドの関係性		
		自己点検			
第4章	製品の類型と機能	1節	商品と製品	○学修期間 1章～5章 10月8日～10月28日までに学修及び理解度チェック1を受けて下さい。 ○「理解度チェック1」 解答期限は10月28日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。	
		2節	製品の五次元とフードサービス		
		3節	計画的陳腐化戦略		
		自己点検			
第5章	サービスの機能	1節	サービスについて	○学修期間 1章～5章 10月8日～10月28日までに学修及び理解度チェック1を受けて下さい。 ○「理解度チェック1」 解答期限は10月28日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。	
		2節	サービスの定義		
		3節	レンタル機能としてのサービス		
		自己点検			
理解度チェック1					
第6章	価格	1節	価格とは	○学修期間 6章～10章 10月29日～11月11日までに学修及び理解度チェック1を受けて下さい。 ○「理解度チェック2」 解答期限は11月11日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。	
		2節	価格と需要の関係		
		3節	価格と消費スタイル		
		自己点検			
第7章	流通戦略と流通機能	1節	流通戦略について	○学修期間 6章～10章 10月29日～11月11日までに学修及び理解度チェック1を受けて下さい。 ○「理解度チェック2」 解答期限は11月11日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。	
		2節	流通機能とシステム間競争		
		3節	競争戦略の四類型		
		自己点検			
第8章	卸売業と小売業	1節	卸売業の特徴と役割	○学修期間 6章～10章 10月29日～11月11日までに学修及び理解度チェック1を受けて下さい。 ○「理解度チェック2」 解答期限は11月11日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。	
		2節	小売業の商品分析		
		3節	パレートの法則とロングテーブルの法則		
		自己点検			
第9章	プロモーションと広告	1節	セールス・プロモーション	○学修期間 6章～10章 10月29日～11月11日までに学修及び理解度チェック1を受けて下さい。 ○「理解度チェック2」 解答期限は11月11日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。	
		2節	広告の目的		
		3節	広告予算		
		自己点検			
第10章	広告メッセージとメディア選択	1節	広告メッセージ①(メッセージの作成と評価)	○学修期間 6章～10章 10月29日～11月11日までに学修及び理解度チェック1を受けて下さい。 ○「理解度チェック2」 解答期限は11月11日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。	
		2節	広告メッセージ②(市場調査と社会的責任)		
		3節	広告メディア①(媒体の種類とテレビ媒体)		
		自己点検			
理解度チェック2					
第11章	広告メディアと効果測定	1節	広告メディア②(ラジオ媒体、新聞媒体、雑誌媒体)	○学修期間 11章～15章 11月12日～12月9日までに学修及び理解度チェック1を受けて下さい。	
		2節	広告メディア③(インターネット、交通広告、屋外広告、折込広告、DM)		
		3節	広告の効果測定		
		自己点検			
第12章	口コミとマス・コミュニケーション	1節	口コミの定義と機能	○学修期間 11章～15章 11月12日～12月9日までに学修及び理解度チェック1を受けて下さい。	
		2節	口コミと商品の関係性		
		3節	自己点検		
		1節	口コの特徴		
第13章	戦略としての口コミ	2節	口コの事例と口コのタイプ	○学修期間 11章～15章 11月12日～12月9日までに学修及び理解度チェック1を受けて下さい。	
		3節	企業と生活者の共感性		
		自己点検			
		1節	生活者の「生活時間」		
第14章	時間の概念と広告	2節	必需時間の増加と減少	○学修期間 11章～15章 11月12日～12月9日までに学修及び理解度チェック1を受けて下さい。	
		3節	時間の概念と広告コンセプト		
		自己点検			
		1節	マーケティング・マネジメントについて		
第15章	広告論MBの総復習	2節	イールド・マネジメントと計画的陳腐化戦略	○「試験」 リポート試験は12月10日～12月16日まで ですが、出題及び提出期間となっています。これを過ぎると提出できなくなります。	
		3節	価格と流通について		
		4節	広告の5M		
		5節	時間の概念と広告		
		自己点検			
理解度チェック3					
試験					
受講後アンケート				12月10日～12月16日がアンケート回答期間になります。	
復習期間				試験終了後は全章の復習期間にしてください。	

科目名	教育原論／教育の思想	開講単位数	※理解度チェック及び試験の解答期限・解答回数は講座により異なりますので、各講座とも「授業計画」の「受講期間」欄にて必ず確認してください。
担当講師名	北野秋男	2	

章番号	章名	節番号	節名	受講期間	
	表紙			○本講座は3つのパート、12章で構成されています。 また、それぞれのパートには学修期間が設定されています。 ○各章の視聴(復習)はメディア授業開講期間内であれば、何度でも可能ですが、 理解度チェック及び試験は解答期限を過ぎると解答ができなくなりますので注意してください。	
第1章	なぜ教育思想を学ぶのか	導入			
		1-1	授業の課題と構成		
		1-2	近代教育の発展と限界		
		1-3	近代教育のパラドックス		
第2章	コメニウスの教授学 ——斎教授の方法—	自己点検			
		導入		○学修期間 1章～3章 10月8日～10月27日までに学修及び理解度チェック1を受けて下さい。	
		2-1	コメニウスへの遡及	○「理解度チェック1」 解答期限は10月27日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。	
		2-2	コメニウス		
		2-3	自然的方法に立つ—斎教授		
		2-4	コメニウスの評価と限界		
第3章	ロック自律論 —人間の理性による自律—	自己点検			
		導入			
		3-1	対立する人間観		
		3-2	人間の「理性」と「自律」		
		3-3	家庭教育論		
		3-4	近代教育思想の原型		
理解度チェック1		自己点検			
第4章	導入				
	4-1	子どもの人権			
	4-2	ルソー			
	4-3	自然人の教育			
第5章	4-4	特色・影響			
	自己点検				
	導入		○学修期間 4章～7章 10月28日～11月10日までに学修した上で理解度チェック2を期間内で受けて下さい。		
	5-1	人間教育			
第6章	ペスタロッチの人間教育 一直観教授の確立—	5-2	教育思想	○「理解度チェック2」 解答期限は11月10日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。	
		5-3	教育史上の意義と影響		
		自己点検			
		導入			
第7章	ヘルバートの科学的教育学 —教授過程の定型化—	6-1	ヘルバートの課題		
		6-2	全体の見取図—科学的教育学		
		6-3	評価・影響		
		自己点検			
理解度チェック2		導入			
第8章	7-1	今日の幼稚園			
	7-2	フレーベル			
	7-3	フレーベル幼稚園の普及・評価			
	自己点検				
第9章	導入				
	8-1	自然権思想とコモン・スクール			
	8-2	公教育の有用性と功利性			
	8-3	愛による教育			
第10章	8-4	公教育思想の再検討			
	自己点検				
	導入		○学修期間 8～12章 11月11日～12月8日までに学修した上で理解度チェック3を期間内で受けて下さい。		
	9-1	新教育運動の起源			
第11章	デューイの新教育思想 —児童中心の教育—	9-2	児童中心の教育思想	○「理解度チェック3」 解答期限は12月8日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。	
		9-3	新教育運動の継承と発展		
		自己点検			
		導入			
第12章	ニイルの自由主義教育論 —フリー・スクールの創設者—	10-1	ニイルの遍歴と思想形成		
		10-2	サマー・ヒルの挑戦		
		10-3	フリー・スクール運動の世界的な影響		
		自己点検			
理解度チェック3	第11章	導入			
		11-1	教師論		
		11-2	教育的出会いの特徴		
		11-3	教育的出会いの展開		
		11-4	まとめ		
		自己点検			
試験	第12章	導入			
		12-1	イリイチの思想形成		
		12-2	「隠されたカリキュラム」への批判	○「試験」 リポート試験は12月9日～12月15日まで が、出題及び提出期間となっています。これを過ぎると提出できなくなります。	
		12-3	脱学校論		
		自己点検			
受講後アンケート				12月9日～12月16日がアンケート回答期間になります。	
復習期間				試験終了後の12月16日は全章の復習期間にしてください。	

科目名	教育制度論	開講単位数
担当講師名	北野 秋男	2

※理解度チェック及び試験の提出期限・回数は講座により異なりますので、各講座とも「授業計画」の「受講期間」欄にて必ず確認してください。

章番号	章名	節番号	節名	受講期間	
	表紙			○本講座は3つのパート、15章で構成されています。 また、それぞれのパートには学修期間が設定されています。 ○各章の視聴(復習)はメディア授業開講期間内であれば何度でも可能ですが、理解度チェック及び試験は解答期限を過ぎると解答ができなくなりますので十分注意してください。	
第1章	ガイダンス 教育制度とは？	1	授業のねらい・目的・学修方法など		
		2	授業構成・各回の概要・キーワードの使い方		
		3	教育制度とは？		
第2章	教育の権利と義務	1	導入とキーワード		
		2	教育の「権利」「義務」		
		3-1	「日本国憲法」「教育基本法」の内容①		
		3-2	「日本国憲法」「教育基本法」の内容②		
		4	欧米における「教育の権利思想」		
第3章	近代公教育制度の成立と展開	5	親・教師・国家の教育権		
		1	導入とキーワード		
		2	単線型・複線型・分岐型の学校制度		
		3	欧米の公制度の起源と発展		
		4	日本の公教育制度の起源と発展		
第4章	学校選択制度の実態と賛否	5	戦後の公教育制度「学校教育法」		
		1	導入とキーワード		
		2	学校選択制度とは何か？		
		3	学校選択制度の実態と賛否		
		4	学校選択制度導入の経緯と背景		
		5	学校制度の個性化・自由化		
理解度チェック1					
第5章	学級の運営と経営	1	導入とキーワード		
		2	学級制度と学習指導		
		3	日本の学校・学級制度		
		4	明治以降の学級制度の歴史		
		5	学級制度と学級機能		
第6章	教師の職務と専門性	1	導入とキーワード		
		2	教師の多忙化と教員改革		
		3	教師の仕事と身分保障		
		4	専門職としての教師像		
		5	教師をめぐる今日的課題		
第7章	学習指導要領と学力観の変遷	1	導入とキーワード		
		2	学力調査の歴史		
		3	戦後の学習指導要領の変遷		
		4	学力観の推移と論争		
		5	新たな学力観の登場		
第8章	教育委員会制度改革の歴史	1	導入とキーワード		
		2	教育委員会制度の歴史		
		3	旧教育委員会制度の組織と理念		
		4	改正教育委員会制度の概要		
		5	教育委員会制度の課題		
第9章	学校・教師と保護者・地域の連携	1	導入とキーワード		
		2	学校・教師と保護者・地域の連携		
		3	モンスター・ペアレント問題		
		4	チームとしての学校・教師		
		5-1	コミュニティ・スクール設置の経緯		
第10章	コミュニティ・スクールの実践事例	1	導入とキーワード		
		2	コミュニティ・スクールの全国的動向		
		3-1	コミュニティ・スクールの実践例①		
		3-2	コミュニティ・スクールの実践例②		
		4	コミュニティ・スクールの課題		
		5	米国の「地域学校委員会」の取り組み		
理解度チェック2					
第11章	学力の評価制度	1	導入とキーワード		
		2	学力の評価制度とは何か？		
		3	テストと学力		
		4	テスト問題作成の方法と課題		
		5	教育評価制度の原理と方法		
第12章	格差社会の現状と背景	1	導入とキーワード		
		2	米国の格差社会の現状と背景		
		3	日本の格差問題の現状と背景		
		4	格差と教育		
		5	格差の回避・解消(教育の取り組み)		
第13章	特別支援教育の制度と理念	1	導入とキーワード		
		2	障害のある子どもの教育		
		3	戦後の障害児の教育制度の歴史		
		4	特別支援教育の実態と課題		
		5	共生社会における教育のあり方		
第14章	学校の事件・事故・災害学校安全への取り組み	1	導入とキーワード		
		2-1	事故や自然災害と安全教育①		
		2-2	事故や自然災害と安全教育②		
		3-1	東日本大震災の教訓①		
		3-2	東日本大震災の教訓②		
		4	学校内の危機管理		
		5	いじめ・不登校・外国人児童への対応		
第15章	社会・教育における課題 授業の総括	1	導入とキーワード		
		2	日本社会の課題		
		3	教育制度のパラダイム転換		
		4	新たな教育制度のあり方を考える		
理解度チェック3					
試験					
受講後アンケート					
復習期間					
12月9日～12月16日がアンケート回答期間になります。					
試験終了後の12月16日は全章の復習期間にしてください。					

科目名	特別活動・総合的な学習の時間の指導法	開講単位数
担当講師名	今泉 朝雄	2

※理解度チェック及び試験の解答期限・解答回数は講座により異なりますので、各講座とも「授業計画」の「受講期間」欄にて必ず確認してください。

章番号	章名	節番号	節名	受講期間
	表紙			○本講座は4つのパート、15章で構成されています。 また、それぞれのパートには学修期間が設定されています。 ○各章の視聴(復習)はメディア授業開講期間内であれば、何度でも可能ですが、理解度チェック及び試験は解答期限を過ぎると解答ができなくなりますので注意してください。
第1章	特別活動とは何か	1-1	はじめに 本時の概要	
		1-2	そもそも特別活動とは何か	
		1-3	特別活動の概念を構成する要素1	
		1-4	特別活動の概念を構成する要素2	
		1-5	特別活動の概念を構成する要素3	
		1-6	特別活動を自分で定義にまとめてみよう	
		1-7	求められる特別活動の計画力、指導力	
第2章	特別活動の教育的意義	2-1	どうして「教科外」活動が必要なのか	
		2-2	教科外活動でどのような資質・能力が身につくか	
		2-3	教科外活動の教育的意義を2つの視点から整理する	
		2-4	教科外活動の機能的特徴 -2つの機能的側面から	
			自己点検	
第3章	特別活動の歴史から特徴を理解する	3-1	戦前期教科外活動から学ぶ ?教科外活動の発生から	
		3-2	戦前期教科外活動から学ぶ ?教科外活動の発生から	
		3-3	戦前期教科外活動から学ぶ ?教科外活動の発生から	
		3-4	戦後における教科外活動の教育課程化①	
		3-5	戦後における教科外活動の教育課程化②	
			自己点検	
第4章	学習指導要領における特別活動の位置づけ	4-1	現行学習指導要領の特徴①	
		4-2	現行学習指導要領の特徴②	
		4-3	学習指導要領における特別活動の目標①	
		4-4	学習指導要領における特別活動の目標②	
		4-5	教育課程における特別活動の位置づけ	
			自己点検	
理解度チェック1				
第5章	学級活動の指導方法	5-1	学級活動とは何か	
		5-2	学級活動で取り組む内容①	
		5-3	学級活動で取り組む内容②	
		5-4	学級活動の目標と活動のありよう	
		5-5	学級活動における全体計画と指導方法	
			自己点検	
第6章	話し合い活動の指導方法	6-1	話し合い活動の重要性	
		6-2	「話し合い活動」指導上の基本的考え方	
		6-3	話し合い活動の条件を作る①	
		6-4	話し合い活動の条件を作る②	
		6-5	話し合い活動の指導2 ?運営の方法?①	
		6-6	話し合い活動の指導3 ?運営の方法?②	
		6-7	議論の舵取り ?「議論」から「対話」へ?	
		6-8	参加者の態度、メンバーシップの育成	
		6-9	話し合い活動における教師の立場	
			自己点検	
第7章	学校行事の指導方法	7-1	学校行事とは何か	
		7-2	学校行事の目標	
		7-3	学校行事の機能的特徴	
		7-4	教育としての学校行事	
		7-5	事例考察 ?生徒の主体性を生み出す学校行事?①	
		7-6	事例考察 ?生徒の主体性を生み出す学校行事?②	
		7-7	事例考察 ?生徒の主体性を生み出す学校行事?③	
		7-8	本章のまとめ	
第8章	生徒会活動の指導方法		自己点検	
		8-1	生徒会活動とは何か	
		8-2	学習指導要領における生徒会活動の目標と内容	
		8-3	生徒会組織の基本形態からみるその特徴	
		8-4	生徒会活動の自治はどこまで認められるのか①	
		8-5	生徒会活動の自治はどこまで認められるのか②	
		8-6	生徒会活動の自治はどこまで認められるのか③	
理解度チェック2				

第9章	総合的学習とは何か	9-1	総合的学習の経験を振り返る			
		9-2	総合的学習とは何か			
		9-3	カリキュラムの類型と「総合学習」誕生の背景			
		9-4	ジョン・デューイの反省的思考と問題解決学習①			
		9-5	ジョン・デューイの反省的思考と問題解決学習②			
		9-6	日本の「総合学習」の歴史と「総合的学習」の誕生①			
		9-7	日本の「総合学習」の歴史と「総合的学習」の誕生②			
			自己点検			
第10章	学習指導要領における総合的学習の位置づけ	10-1	現在の教育政策と総合的学習(第4章の復習)			
		10-2	どのような取組みを行う活動なのか			
		10-3	どんな資質・能力の育成をめざすのか			
		10-4	各学校において定める目標・内容			
		10-5	これまでの整理(目標・内容等の関係構造)			
		10-6	総合的学習の時間数			
			自己点検			
第11章	総合的学習の全体計画	11-1	主体的、対話的で深い学びと総合的学習			
		11-2	総合的学習における往還的関係			
		11-3	学校ごとの目標設定			
		11-4	どのような探究課題(内容)を選択すべきか①			
		11-5	どのような探究課題(内容)を選択すべきか②			
		11-6	総合的学習の年間指導計画とその類型①			
		11-7	総合的学習の年間指導計画とその類型②			
第12章	総合的学習の指導方法1		自己点検			
		12-1	総合的学習における主体性			
		12-2	総合的学習における「探究」の技法①			
		12-3	総合的学習における「探究」の技法②			
		12-4	総合的学習における「探究」の技法③			
		12-5	「協働」とグループによる学び			
		12-6	体験活動の重視			
第13章	総合的学習の指導方法2～事例から検討する～	12-7	学外の人々との関わり、外部環境の活用			
			自己点検			
		13-1	事例紹介1「企業の商品開発ミッション」の事例①			
		13-2	事例紹介2「企業の商品開発ミッション」の事例②			
		13-3	事例紹介2 私立明星学園中学校「総合探究科」①			
		13-4	事例紹介3 私立明星学園中学校「総合探究科」②			
		13-5	事例紹介4 私立明星学園中学校「総合探究科」③			
第14章	特別活動・総合的学習の評価方法	13-6	実践事例の探索方法			
			自己点検			
		14-1	教育評価の基礎理論①			
		14-2	教育評価の基礎理論②			
		14-3	教育評価の基礎理論③			
		14-4	特別活動の評価方法①			
		14-5	特別活動の評価方法②			
第15章	部活動とその課題	14-6	総合的学習の評価方法			
			自己点検			
		15-1	どうして本科目で部活動を取り上げるのか 部活動と			
		15-2	部活動の教育効果			
		15-3	部活動の歴史からその課題を考える			
		15-4	部活動における様々な課題			
		15-5	部活動問題に対する行政等の動き(2019年まで)			
		15-6	おわりに			
			自己点検			
理解度チェック3						
第14章	特別活動・総合的学習の評価方法	14-1	教育評価の基礎理論①			
		14-2	教育評価の基礎理論②			
		14-3	教育評価の基礎理論③			
		14-4	特別活動の評価方法①			
		14-5	特別活動の評価方法②			
		14-6	総合的学習の評価方法			
			自己点検			
第15章	部活動とその課題	15-1	どうして本科目で部活動を取り上げるのか 部活動と			
		15-2	部活動の教育効果			
		15-3	部活動の歴史からその課題を考える			
		15-4	部活動における様々な課題			
		15-5	部活動問題に対する行政等の動き(2019年まで)			
		15-6	おわりに			
			自己点検			
理解度チェック4						
試験						
受講後アンケート						
復習期間						

○学修期間
8章～10章 11月6日～11月19日までに学修した上で理解度チェック3を期間内で受けて下さい。

○「理解度チェック3」
解答期限は11月19日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。

○学修期間
11章～12章 11月20日～12月3日までに学修した上で理解度チェック4を期間内で受けて下さい。

○「理解度チェック4」
解答期限は12月3日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。

○「試験」
リポート試験は12月4日～12月10日までが、出題及び提出期間となっています。これを過ぎると提出できなくなります。

12月4日～12月16日がアンケート回答期間になります。

試験終了後の12月11日～12月16日は全章の復習期間にしてください。

科目名	教育の方法・技術論	開講単位数
担当講師名	壽福 隆人	2

※理解度チェック及び試験の解答期限・解答回数は講座により異なりますので、各講座とも「授業計画」の「受講期間」欄にて必ず確認してください。

章番号	章名	項目番号	項目名	受講期間	
	表紙			○本講座は4つのパート、15章で構成されています。 また、それぞれのパートには学修期間が設定されています。 ○各章の視聴(復習)はメディア授業開講期間内であれば、何度でも可能ですが、理解度チェック及び試験は解答期限を過ぎると解答ができなくなりますので注意してください。	
第1章	教育方法学とはどんな学問か	導入			
		1-1	教育方法学		
		1-2	教育方法学の歴史		
		1-3	言語主義批判の系譜		
		1-4	デューイと問題解決学習		
		1-5	ブルーナーと系統学習・構造化論		
第2章	わが国の教育方法学研究の歴史	1-6	自己点検		
		導入		○学修期間 1章～3章 10月8日～10月25日までに学修及び理解度チェック1を受けて下さい。	
		2-1	ペスタロッチ主義の紹介		
		2-2	ヘルバート派教授法の導入		
		2-3	大正期の自由主義的教育方法の展開		
		2-4	ファシズムから戦後の改革へ		
第3章	学校教育とカリキュラム	2-5	自己点検		
		導入			
		3-1	カリキュラムとは何か		
		3-2	教科内容の編成(「リベラル・アーツ」と「一般教育」)		
		3-3	現代のカリキュラムの類型		
		3-4	学習指導要領とカリキュラム		
		3-5	自己点検		
理解度チェック1					
第4章	授業の形態と集団の編成・指導	導入			
		4-1	授業形態の変遷		
		4-2	ドルトン・プラン		
		4-3	ウイニッカ・プラン		
		4-4	イエナ・プラン		
		4-5	自己点検		
第5章	授業形態の多様化	導入		○学修期間 4章～6章 10月26日～11月8日までに学修した上で理解度チェック2を期間内で受けて下さい。	
		5-1	バズ学習		
		5-2	完全習得学習		
		5-3	オープン・エデュケーション		
		5-4	チーム・ティーチング		
		5-5	自己点検		
第6章	学級編成と学級経営	導入			
		6-1	学級の成立と普及		
		6-2	近代学校における学級の成立		
		6-3	学級経営の進め方		
		6-4	学習・生活指導の場としての学級経営		
		6-5	自己点検		
理解度チェック2					
第7章	小集団指導	導入			
		7-1	小集団指導		
		7-2	小集団の編成方法		
		7-3	個人差に応ずる指導		
		7-4	自己点検		
第8章	教育の技術とはなにか	導入		○学修期間 7章～9章 11月9日～11月22日までに学修した上で理解度チェック3を期間内で受けて下さい。	
		8-1	教材研究と学習指導案の作成		
		8-2	学習課題の設定と授業の準備		
		8-3	教材研究		
		8-4	学習指導案の作成		
		8-5	自己点検		
第9章	授業の展開	導入			
		9-1	導入の工夫と発問の方法		
		9-2	学習反応の処理		
		9-3	授業をつくるために理解しておきたい教育の基本構造		
		9-4	自己点検		
理解度チェック3					
第10章	授業の展開を豊かにする物的手段	導入			
		10-1	古典的教具		
		10-2	視聴覚教育機器の種類とその利用		
		10-3	ニューメディア		
		10-4	「教育工学」の考え方		
		10-5	自己点検		
第11章	教育評価	導入			
		11-1	教育評価の目的と構成要素		
		11-2	教育評価の歴史的展開		
		11-3	現代の教育評価		
		11-4	自己点検		
第12章	評価の方法	導入		○学修期間 10章～15章 11月23日～12月6日までに学修した上で理解度チェック4を期間内で受けて下さい。	
		12-1	評価法の分類		
		12-2	評価の記録		
		12-3	指導要録と通知表		
		12-4	評価の心理的影響		
		12-5	自己点検		
第13章	ICT教育の現状と課題	導入			
		13-1	ICT教育とは何か		
		13-2	学校のICT教育への取り組み		
		13-3	企業のICT教育への取り組み		
		13-4	ICT教育の今後の課題		
		13-5	自己点検		
第14章	学校のICT教育の取り組み	導入			
		14-1	学校におけるICT教育活用例		
		14-2	ICT利活用推進校における取り組み例		
		14-3	ICT機器を活用した授業実践例		
		14-4	BYODの導入		
		14-5	BYODの導入の課題		
		14-6	自己点検		
第15章	企業のICT教育の取り組み	導入			
		15-1	ICT教育への企業の取り組み(はじまり～第1次整備時代)		
		15-2	第2次～第3次整備時代		
		15-3	第1期教育振興基本計画の時代		
		15-4	教育の情報化・デジタル化の時代		
		15-5	平成25年以降の展開と今後の課題		
		15-6	自己点検		
試験				○「試験」 リポート試験は12月7日～12月13日までが、出題及び提出期間となっています。これを過ぎると提出できなくなります。	
受講後アンケート				12月7日～12月16日がアンケート回答期間になります。	
復習期間				試験終了後の12月14日～16日の間は全章の復習期間にしてください。	

科目名	国文学演習 I ~ VI	開講単位数
担当講師名	近藤 健史	1

				受講期間	
章番号	章名	項目番号	項目名		
	表紙				
第1章	はじめに		教員紹介		
		1-1	授業のねらいと構成		
第2章	国文学演習入門		(導入)国文学演習入門		
		2-1	基本的手順について		
		2-2	発表の仕方と心得		
		2-3	レジュメの形式について		
		2-4	資料の探し方(万葉集)		
第3章	万葉集入門		(導入)万葉集入門		
		3-1	万葉集の成立と環境	10/8~12/16 ※グループ討論に入る前に受講してください	
		3-2	万葉集の名義		
		3-3	時代区分と主な歌人		
		3-4	万葉集の歌の読み方		
		3-5	基本的な参考文献		
第4章	説話歌入門		(導入)説話歌入門		
		4-1	説話歌の概念と歌数		
		4-2	万葉人の結婚について		
第5章	テーマ1 「妻争伝説歌」ではなぜ結婚を拒否するのかについて		教員による課題提示	※発表は10/21迄 全体討論は10/22~10/27	
			発表・全体討論		
第6章	テーマ2 「説話歌の女性は美女か」について		教員による課題提示	※発表は10/28迄 全体討論は10/29~11/3	
			発表・全体討論		
第7章	テーマ3 「虫麻呂に歌われた女性像」について		教員による課題提示	※発表は11/4迄 全体討論は11/5~11/10	
			発表・全体討論		
第8章	テーマ4 「水江浦島児の歌」における「愚人」の意味について		教員による課題提示	※発表は11/11迄 全体討論は11/12~11/17	
			発表・全体討論		
第9章	テーマ5 「真間手児奈伝説歌」における「身をたな知りて」の意味について		教員による課題提示	※発表は11/18迄 全体討論は11/19~11/24	
			発表・全体討論		
第10章	テーマ6 説話歌の成立基盤と系譜について (ア)「菟原処女伝説歌」から森鷗外「生田川」へ		教員による課題提示	※発表は11/25迄 全体討論は11/26~12/1	
			全体討論		
第11章	テーマ7 説話歌の成立基盤と系譜について (イ)「竹取翁歌」から「竹取物語」へ		教員による課題提示	※発表は12/2迄 全体討論は12/3~12/8	
			全体討論		
第12章	テーマ8 説話歌の成立基盤と系譜について (ウ)「水江浦島児の歌」から「浦島物語」へ		教員による課題提示	※発表は12/9迄 全体討論は12/10~12/15	
			全体討論		
リポート試験				提出締切:12/16	
受講後アンケート				12月10日~12月16日がアンケート回答期間になります。	
復習期間				リポート試験提出後は全章の復習期間としてください。	

哲学演習MA メディア授業計画

科目名	哲学演習 I・II	開講単位数
担当講師名	中澤 瞳	2

※理解度チェック(報告課題)及び試験の解答期限・
解答回数は講座により異なりますので、各講座とも
「授業計画」の「受講期間」欄にて必ず確認してください。

章番号	章名	節番号	節名	受講期間	
	表紙			○本講座は4つのパート、15章で構成されています。 また、それぞれのパートには学修期間が設定されております。 ○各章の視聴(復習)はメディア授業開講期間内であれば何度でも可能ですが、 課題提出期限 を過ぎると解答ができなくなりますので十分注意してください。	
第1章	哲学演習MAのねらい	1節	哲学演習MAのねらい		
		2節	卒業論文制作の道筋1		
		3節	卒業論文制作の道筋2		
		4節	授業の構成		
		5節	課題		
第2章	論文とはどのような文章表現か	1節	論文とはどのような構文章表現か		
		2節	論文とはなにか1		
		3節	論文とはなにか2-1		
		4節	論文とはなにか2-2		
第3章	論文の構成	1節	第2章の確認		
		2節	論文の構成:序論		
		3節	論文の構成:本論		
		4節	論文の構成:結論と注と参考文献表		
		5節	論文執筆に必要なもの:問い合わせ		
第4章	問題と主張と論拠について	1節	問題について	10/8~12/16 ※発表1の課題提出を行うまでに受講してください。	
		2節	問題の立て方1		
		3節	問題の立て方2		
		4節	問題の立て方3		
		5節	主張について1		
		6節	主張について2		
		7節	論拠について1		
		8節	論拠について2		
第5章	発表1(+相互評価) 問題と主張と論拠を作る	1節	課題説明		
		2節	例1		
		3節	例2		
		4節	例3		
		5節	例4		
		6節	例5		
		7節	例6		
発表1 課題提出期間				10/21~10/27	
発表1 相互評価シート提出期間				10/31~11/7	
第6章	先行研究を調べる	1節	先行研究の重要性		
		2節	一次文献と二次文献		
		3節	文献の探し方1		
		4節	文献の探し方2		
第7章	説明を考える	1節	説明の方法・定義について		
		2節	比較について		
		3節	分類について		
		4節	例示について		
		5節	言い換えについて		
		6節	付加・転換について		
第8章	アウトラインを作る	1節	アウトラインをどう作るか1-1		
		2節	アウトラインをどう作るか1-2		
		3節	アウトラインをどう作るか2-1		
		4節	アウトラインをどう作るか2-2		
		5節	アウトラインをどう作るか2-3	10/29~12/16 ※発表2の課題提出を行うまでに受講してください。	
		6節	アウトラインをどう作るか2-4		
		7節	アウトラインをどう作るか3-1		
		8節	アウトラインをどう作るか3-2		
第9章	体裁を整える	1節	注とはなにか1		
		2節	注とはなにか2		
		3節	引用文について		
		4節	引用文への加筆について		
		5節	文献表の作り方1		
		6節	文献表の作り方2		
		7節	文献表の作り方3		
		8節	文章の基本的な作法		
第10章	発表2 参考文献表の作成	1節	課題説明		
発表2 課題提出期間				11/10~11/17	

哲学演習MA メディア授業計画

科目名	哲学演習 I・II	開講単位数
担当講師名	中澤 瞳	2

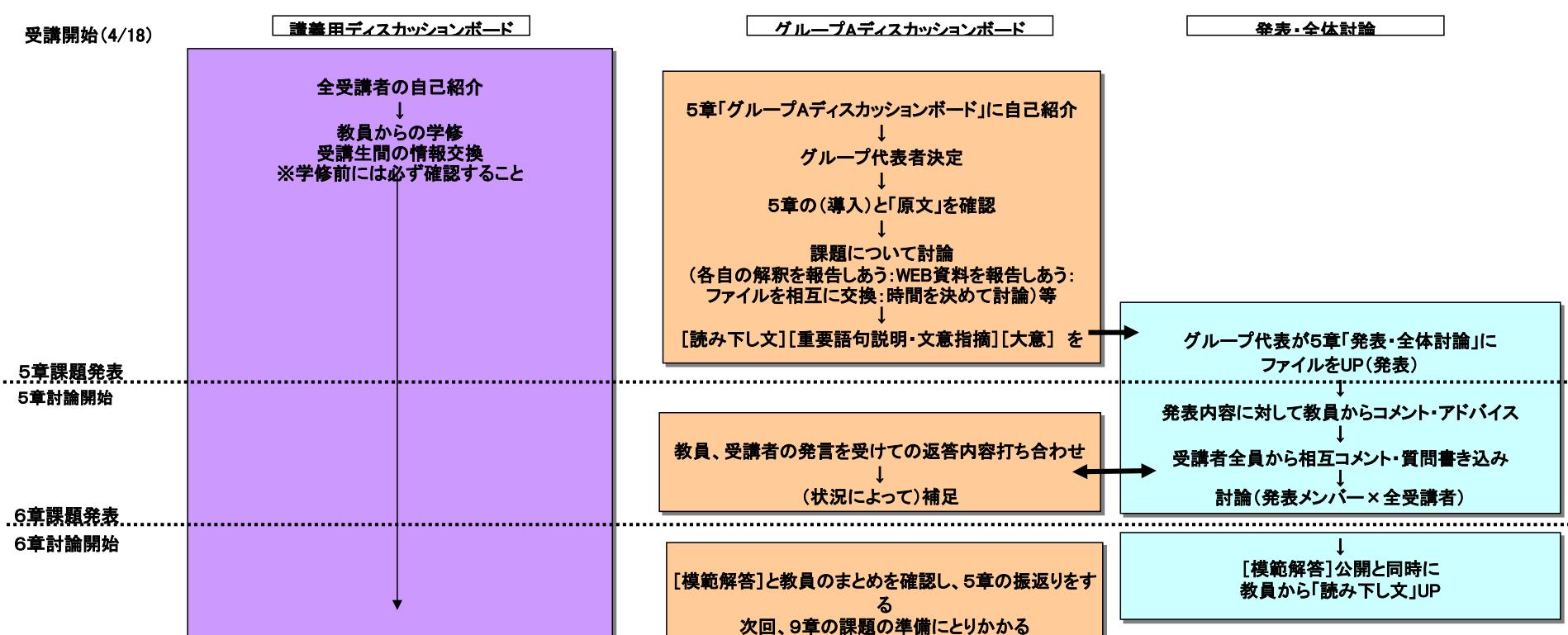
※理解度チェック(報告課題)及び試験の解答期限・
解答回数は講座により異なりますので、各講座とも
「授業計画」の「受講期間」欄にて必ず確認してください。

章番号	章名	節番号	節名	受講期間
第11章	パラグラフについて	1節	段落とパラグラフについて1	11/18~12/16 ※発表3の課題提出を行うまでに受講して下さい。
		2節	段落とパラグラフについて2	
		3節	パラグラフの構成1	
		4節	パラグラフの構成2	
		5節	パラグラフの分析	
		6節	読みやすいパラグラフについて考える	
第12章	要約を作る	1節	要約の目的と作り方	11/18~12/16 ※発表3の課題提出を行うまでに受講して下さい。
		2節	要約の実践1-1	
		3節	要約の実践1-2	
		4節	要約の実践2-1	
		5節	要約の実践2-2	
第13章	批判的な視点をもつ	1節	批判的な視点の作り方1-1	11/23~11/29
		2節	批判的な視点の作り方1-2	
		3節	批判的な視点の作り方2-1	
		4節	批判的な視点の作り方2-2	
		5節	批判的な視点の作り方2-3	
		6節	異論と批判	
第14章	発表3(+相互評価) パラグラフを意識しながら、要約を作る	1節	課題説明	12/2~12/9
発表3 課題提出期間				11/30~12/16 ※最終発表の課題提出を行うまでに受講して下さい。
最終発表 課題提出期間				12/10~12/16
受講後アンケート				12月10日~12月16日がアンケート回答期間になります。
復習期間				最終発表提出後は全章の復習期間としてください。

科目名	日本史演習 I・II	開講単位数
担当講師名	鍋本 由徳	1

章番号	章名	項番号	項名	受講期間	
	表紙				
第1章	はじめに		(導入)教員紹介	本講座の、受講期間は10月8日の開講日から12月16日までとなっています。	
			(導入)近世文書を読むための基礎知識		
		1-1	授業のねらいと構成		
		1-2	近世文書読解のための基礎知識(1)		
		1-3	近世文書読解のための基礎知識(2)		
		1-4	第1章 自己点検		
第2章	『民間省要』と田中丘隅		(導入)『民間省要』の著者、田中丘隅	そのうち1~4章は[基礎編]として上記受講期間の全ての期間で公開しています。 5~12章[演習編]の各章の(導入)も、それぞれテキストの「原文」とその解説として期間中全て公開しています。	
		2-1	テキスト『民間省要』解題		
		2-2	著者田中丘隅について(1)		
		2-3	著者田中丘隅について(2)		
		2-4	第2章 自己点検		
第3章	元禄~享保期の社会		(導入)元禄~享保期	各章の「発表、全体討論」は課題発表がされた次の日から、教員・受講生 共にコメントを書き込むのに使用します。「読み下しの模範」は、各章の一週間の討論終了後に公開します。	
		3-1	享保改革開始時の幕府政治の動向		
		3-2	享保期の経済と流通		
		3-3	農村構造の変容		
		3-4	第3章 自己点検		
第4章	教員によるテキスト読解		(導入)課題報告の際の注意事項		
		4-1	第一「地方の事」		
第5章	テキストを読む(1) (災害記事・「色取検見」に留意しつつ)		(導入)「検見」	全期間中公開	
			全体討論	※Aグループ 10/21迄に発表 10/22から全体討論開始	
			第5章読み下しの模範	10/28公開	
第6章	テキストを読む(2) (年貢米上納の手続と農民負担に留意しつつ)		(導入)年貢米の納入	全期間中公開	
			全体討論	※Bグループ 10/28迄に発表 10/29から全体討論開始	
			第6章読み下しの模範	11/4公開	
第7章	テキストを読む(3) (収穫までの手間・費用と田地質入値段に留意しつつ)		(導入)田地売買	全期間中公開	
			発表・全体討論	※Cグループ 11/4迄に発表 11/5から全体討論開始	
			第7章読み下しの模範	11/11公開	
第8章	テキストを読む(4) (収穫までの手間・費用に留意しつつ)		(導入)肥料や生産用具	全期間中公開	
			発表・全体討論	※Dグループ 11/11迄に発表 11/12から全体討論開始	
			第8章読み下しの模範	11/18公開	
第9章	テキストを読む(5) (「検見」、江戸時代の貨幣制度に留意しつつ)		(導入)検見の手順	全期間中公開	
			発表・全体討論	※Aグループ 11/18迄に発表 11/19から全体討論開始	
			第9章読み下しの模範	11/25公開	
第10章	テキストを読む(6) (農作業のサイクル、「金納」・「小物成」に留意しつつ)		(導入)年貢早納・小物成	全期間中公開	
			発表・全体討論	※Bグループ 11/25迄に発表 11/26から全体討論開始	
			第10章読み下しの模範	12/2公開	
第11章	テキストを読む(7) (「定免制」に留意しつつ)		(導入)定免制	全期間中公開	
			発表・全体討論	※Cグループ 12/2迄に発表 12/3から全体討論開始	
			第11章読み下しの模範	12/9公開	
第12章	テキストを読む(8) (地主・小作関係の生成と展開に留意しつつ)		(導入)小作	全期間中公開	
			発表・全体討論	※Dグループ 12/9迄に発表 12/10から全体討論開始	
			第12章読み下しの模範	12/16公開	
受講後アンケート				12月16日がアンケート回答期間になります。	
復習期間				12/16は復習期間です。教員の総括を確認してください。	

演習受講イメージ (例:Aグループ)



※以降B, C, Dグループも同様に発表・討論を繰り返します